

# 九州経済の現状

(2025年版)

経済産業省  
九州経済産業局

カラー版PDFデータ:

九州経済産業局



[経済動向・統計](#) > [経済動向 \(鉱工業動向等\)](#)

# 目次

はじめに	3
1. 九州経済の概要	4
2. 農業	1 1
3. 製造業	1 3
4. 貿易	2 2
[トピックス] 対米輸出額の変化～米国関税の影響～	2 4
5. 消費	2 5
6. 雇用	2 8
7. 設備投資	2 9
8. 住宅	3 0
9. 開業・廃業	3 1
10. 倒産	3 3
参考	3 5

## ※データ利用上の注意

- ・各データの地域ブロック区分は、経済産業局の所管区分により、全国を北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の9ブロックに分類している。そのため、当資料の「九州」は、注などの記載がない限り、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県を表す。
- ・出所元の統計データに秘匿がある場合は、全国比などの数値が実態と合わないことがある。
- ・本書掲載の図表やデータを使用する際は、出所元の最新情報を確認し、無断で使用しないこと。
- ・グラフの出所は2026年4月末時点の最新データをもとに九州経済産業局作成。
- ・年間補正等により数値が変更される場合がある。
- ・調査対象の見直し等によりギャップが発生している場合、前年（同期、同月）比増減率は、ギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している。
- ・当資料の表、グラフの数値は、単位未満を四捨五入しているので合計と内訳が一致しない場合がある。

## はじめに

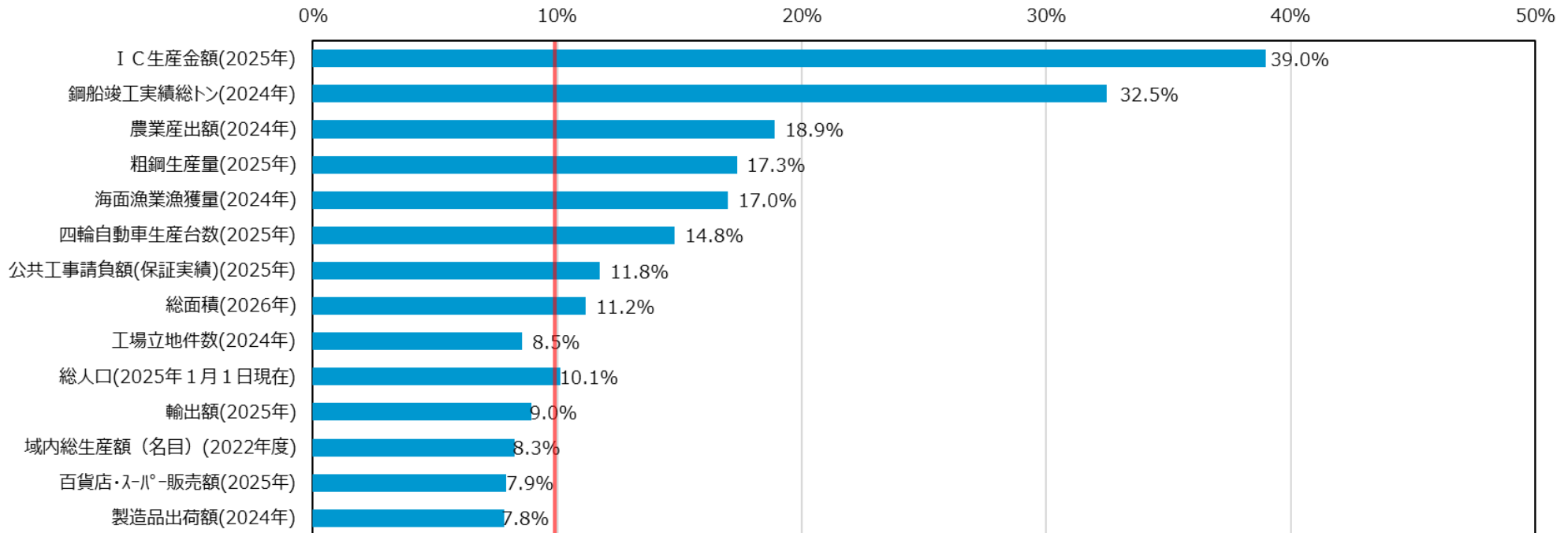
九州は、日本の南西部に位置し、東アジア主要都市に短時間でアクセスできる地理的優位性を持ち、古来より海外交流の拠点として発展を遂げてきた。2020年以降、コロナ禍により大きな影響を受けた海外との往来は、国際定期便の増便やクルーズ船寄港の再開を背景に、近年回復基調が続き、インバウンド需要は地域経済の押し上げに寄与している。

また、温暖な気候を有する豊かな自然環境を背景に農業地域として発展した九州は、19世紀後半から20世紀の初頭にかけて、官営八幡製鉄所の設立をはじめ、造船、石炭産業等、海外からの技術導入を通じて明治日本の産業革命において重要な役割を担ってきた。近年では、産業構造の変化に伴い半導体や自動車に関連する産業の集積が進み、生産拠点としての役割を一層増しつつあるほか、アジアとの経済的な結びつきが地域産業の広がりにも寄与している。

# 1. 九州経済の概要 —経済規模—

九州は、人口（全国比10.1%）や面積（同11.2%）、域内総生産額（名目）（同8.3%）といった、経済の基礎となる指標は概ね全国の10%程度であることから、九州の経済規模は「1割経済」と言われている。

図表 1 - 1 全国に対する九州のシェア



(出所) 国土交通省「造船造機統計調査 造船統計月報」、農林水産省「令和6年生産農業所得統計」、「令和6年漁業・養殖業生産統計」、国土交通省「令和8年全国都道府県市区町村別面積調」、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、財務省「貿易統計」、内閣府「令和4年度県民経済計算」、総務省・経済産業省「令和6年経済構造実態調査」、経済産業省「生産動態統計調査」、「商業動態統計月報」、「工場立地動向調査」

# 1. 九州経済の概要 –域力–

九州の域内総生産額はイラン、香港と同等の経済規模である。

図表 1-2 地域ブロックの“域力”

	国名及び 地域名	域内総生産 (100万米ドル)	人口 (千人)	面積 (万Km <sup>2</sup> )		国名及び 地域名	域内総生産 (100万米ドル)	人口 (千人)	面積 (万Km <sup>2</sup> )
1位	アメリカ合衆国	26,006,900	338,290	983	22位	ポーランド	695,607	39,857	31
2位	中国	17,881,783	1,425,887	960	23位	アルゼンチン	632,790	45,510	280
3位	日本	4,266,200	124,947	38	24位	ノルウェー	593,727	5,434	32
4位	ドイツ	4,163,596	83,370	36	25位	ベルギー	593,439	11,656	3
5位	インド	3,428,512	1,417,173	329	26位	スウェーデン	579,896	10,549	44
6位	イギリス	3,114,042	67,509	24	27位	アイルランド	548,570	5,023	7
7位	フランス	2,796,302	64,627	55		中部	528,098	13,413	3
8位	ロシア	2,268,388	144,713	1,710	28位	イスラエル	527,694	9,038	2
9位	カナダ	2,161,483	38,454	998	29位	アラブ首長国連邦	502,732	9,441	7
10位	イタリア	2,102,996	59,037	30	30位	シンガポール	498,475	5,976	0
	関東	2,093,950	52,139	7	31位	タイ	495,646	71,697	51
11位	ブラジル	1,951,924	215,313	851	32位	ナイジェリア	475,058	218,541	92
12位	韓国	1,799,363	51,816	10	33位	オーストリア	471,774	8,940	8
13位	オーストラリア	1,780,937	26,177	769	34位	バングラデシュ	432,906	171,186	15
14位	メキシコ	1,466,465	127,504	196	35位	ベトナム	410,324	98,187	33
15位	スペイン	1,446,498	47,559	51	36位	エジプト	409,307	110,990	100
16位	インドネシア	1,319,076	275,501	191	37位	マレーシア	407,027	33,938	33
17位	サウジアラビア	1,108,572	36,409	221	38位	南アフリカ	405,271	59,894	122
18位	オランダ	1,046,541	17,564	4	39位	フィリピン	404,353	115,559	30
19位	トルコ	907,119	85,341	78	40位	デンマーク	401,946	5,882	4
20位	スイス	828,509	8,740	4	41位	イラン	398,048	88,551	163
21位	台湾	765,529	23,893	4		九州	374,690	12,740	4
	近畿	730,899	21,169	3	42位	香港	358,681	7,489	0

(出所) 各国データ（日本を含む）：総務省「世界の統計」

国内地域ブロックの域内総生産：内閣府「令和4年度県民経済計算」

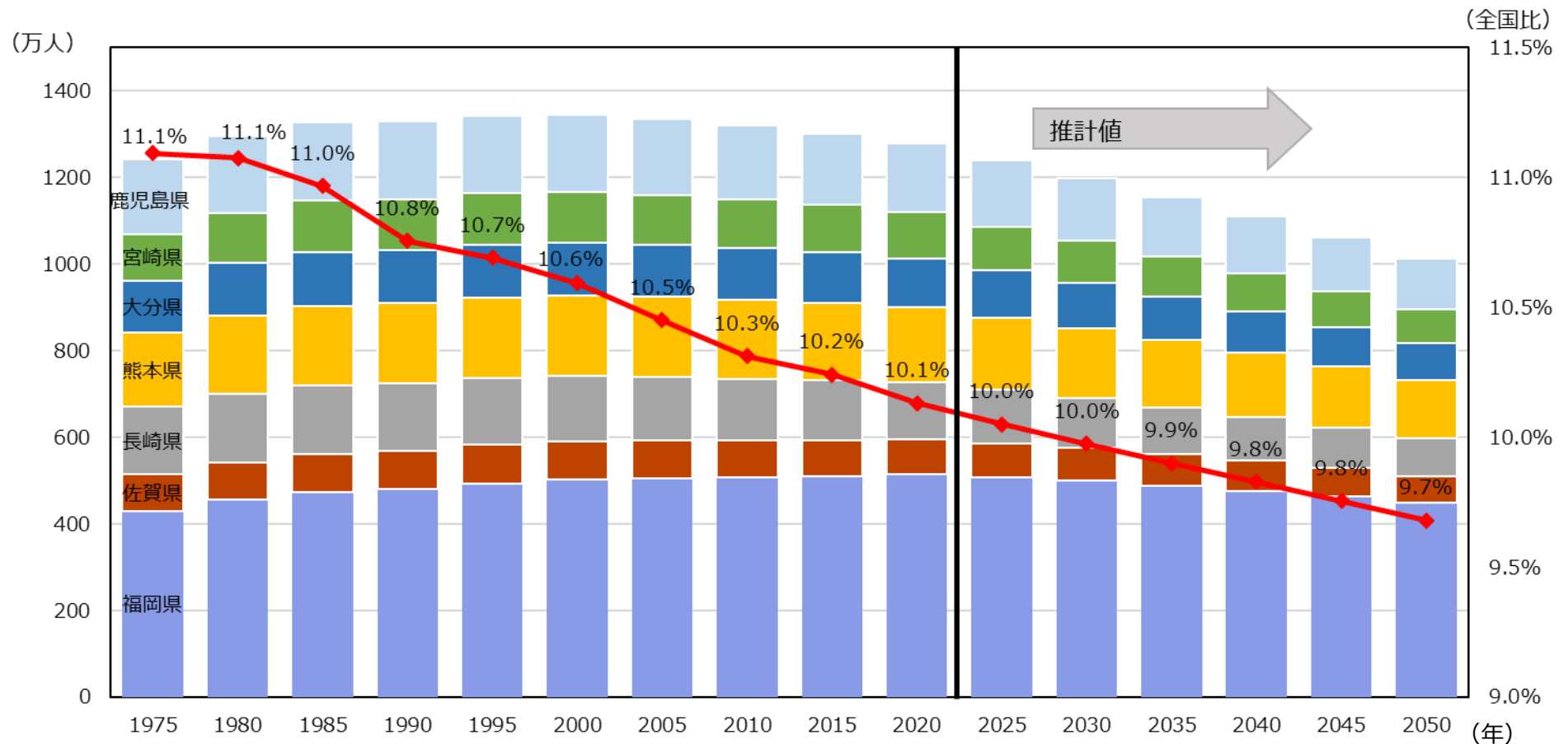
国内地域ブロックの人口：総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数（令和5年1月1日現在）」

国内地域ブロックの面積：国土交通省「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」

# 1. 九州経済の概要 -人口推移-

九州の人口は1,278万人（2020年）と全国（1億2,615万人）の10.1%を占めているが2000年をピークに減少しており、2050年には1,013万人と、2020年比で20.7%減り、全国比も9.7%まで減少すると推計されている。

図表 1-3 九州の人口推移

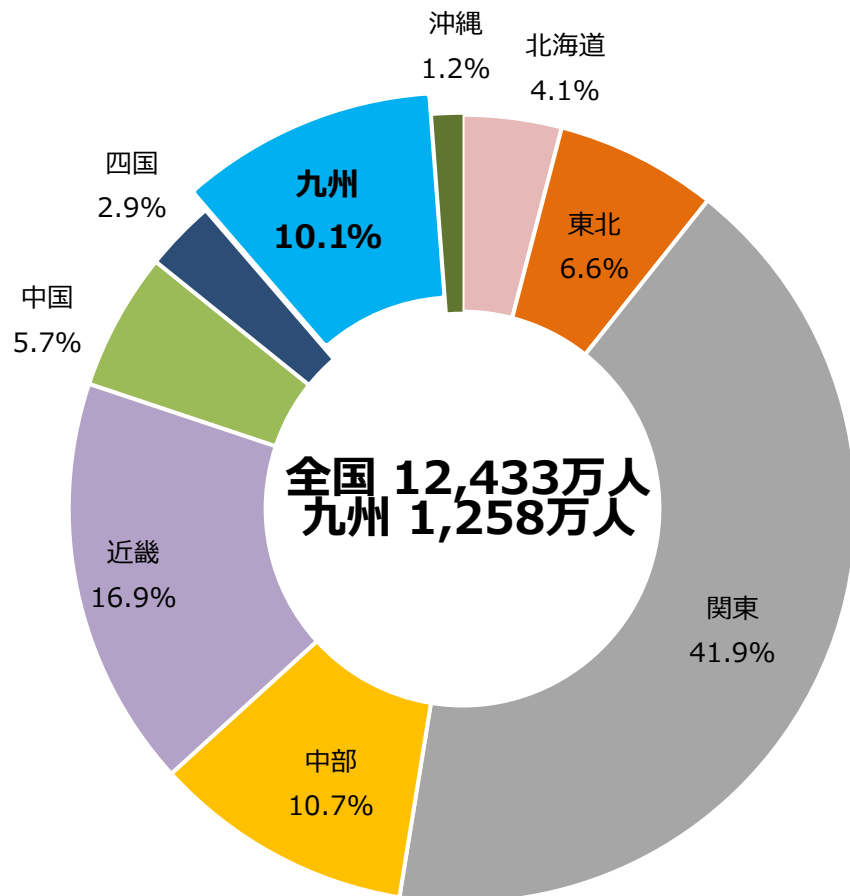


(出所) 2020年までは総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和6年（2024）年推計）」

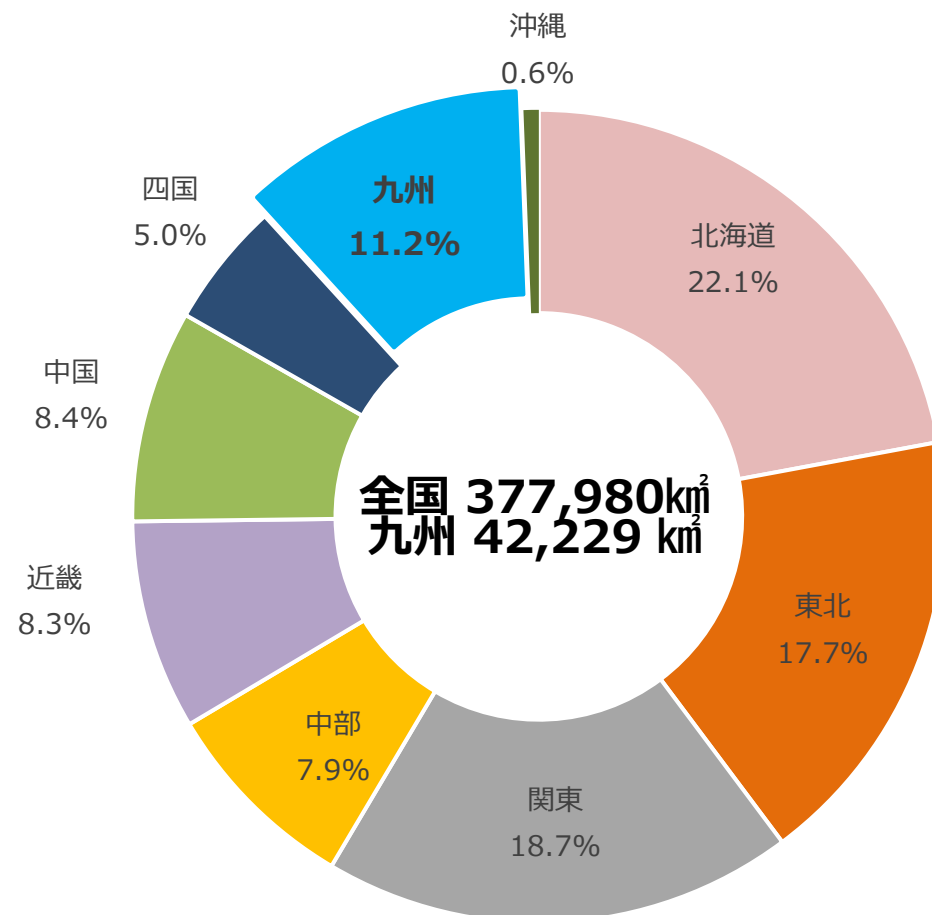
# 1. 九州経済の概要 –人口と面積–

九州の人口は1,258万人（2025年）で全国の10.1%、面積は42,229 km<sup>2</sup>（2026年）で全国の11.2%を占める。

図表 1-4 ブロック別人口構成比



図表 1-5 ブロック別面積構成比



(出所) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（令和7年1月1日現在）

国土交通省「令和8年全国都道府県市区町村別面積調」（令和8年1月1日時点）

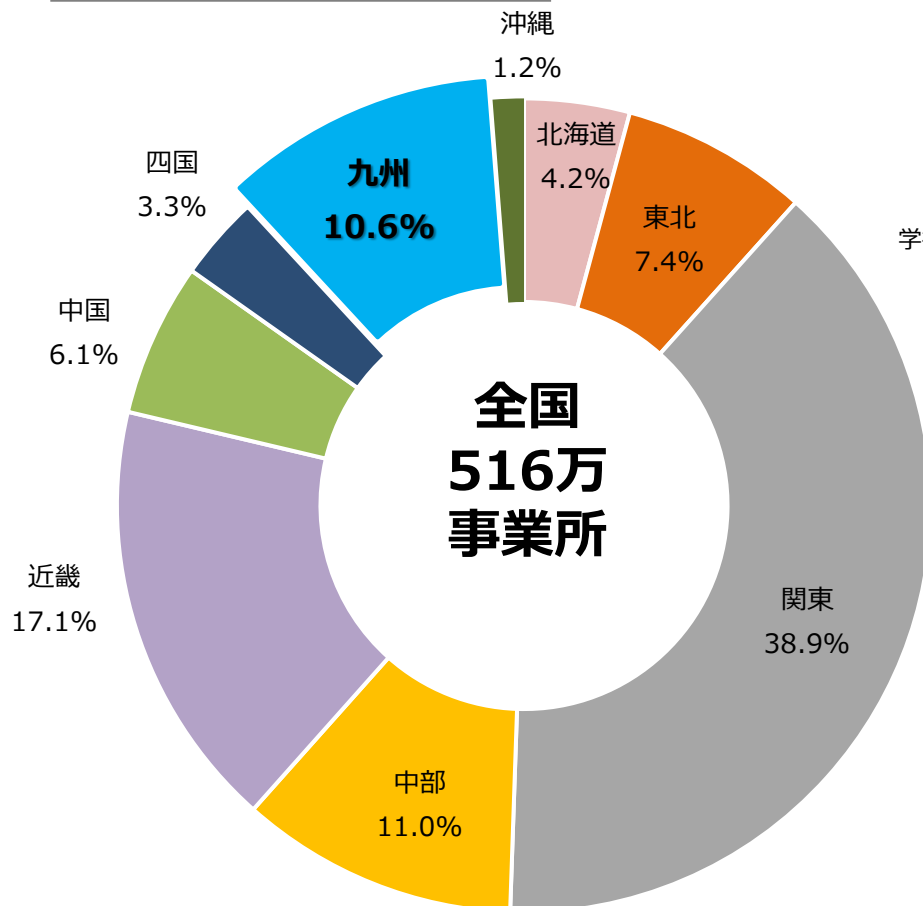
(注) 県境の未定地域については参考値を使用

# 1. 九州経済の概要 –事業所数–

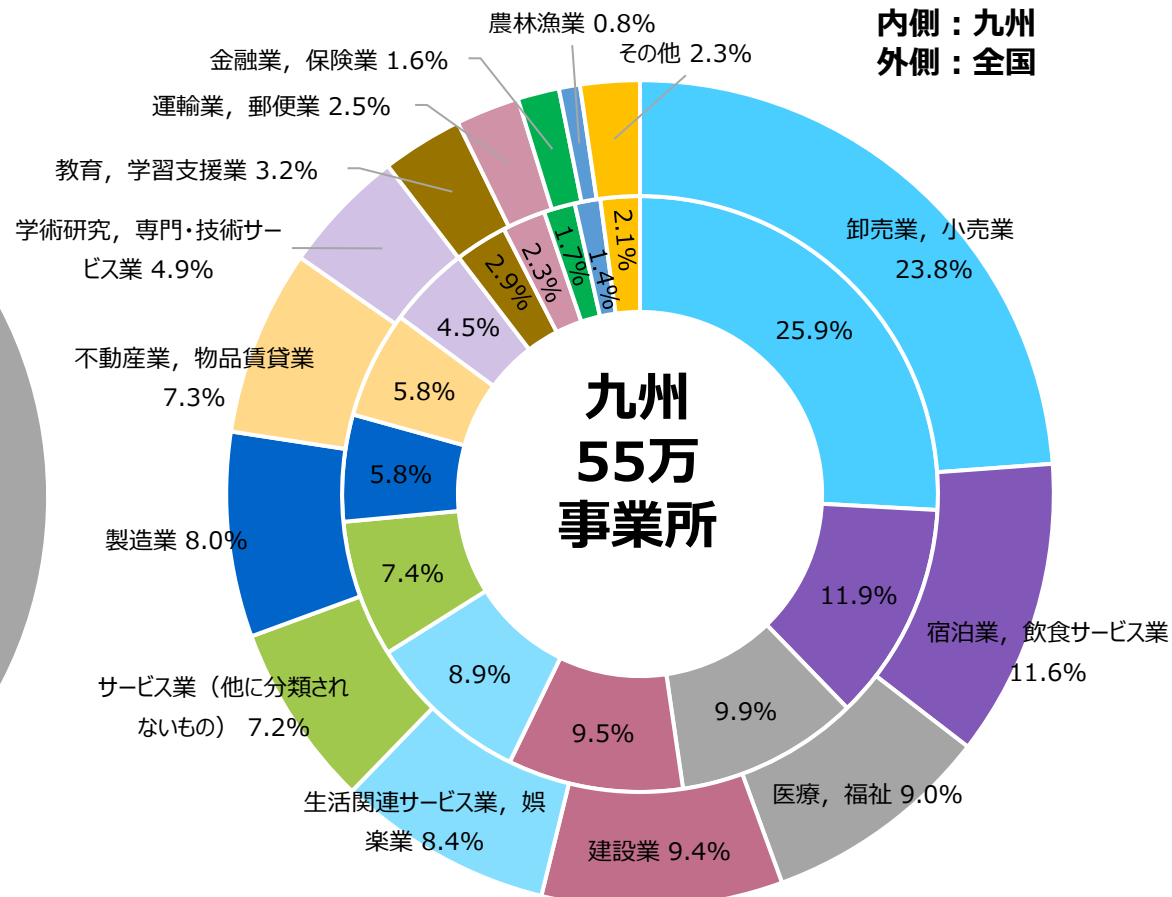
九州の事業所数（民営）は、約55万事業所で、全国の10.6%を占める。

事業所別構成比をみると、全国に比べて卸売業・小売業、医療・福祉等が多い一方で、製造業、不動産業・物品賃貸業は少ない。

図表 1 - 6 ブロック別事業所数構成比



図表 1 - 7 業種別事業所数構成比

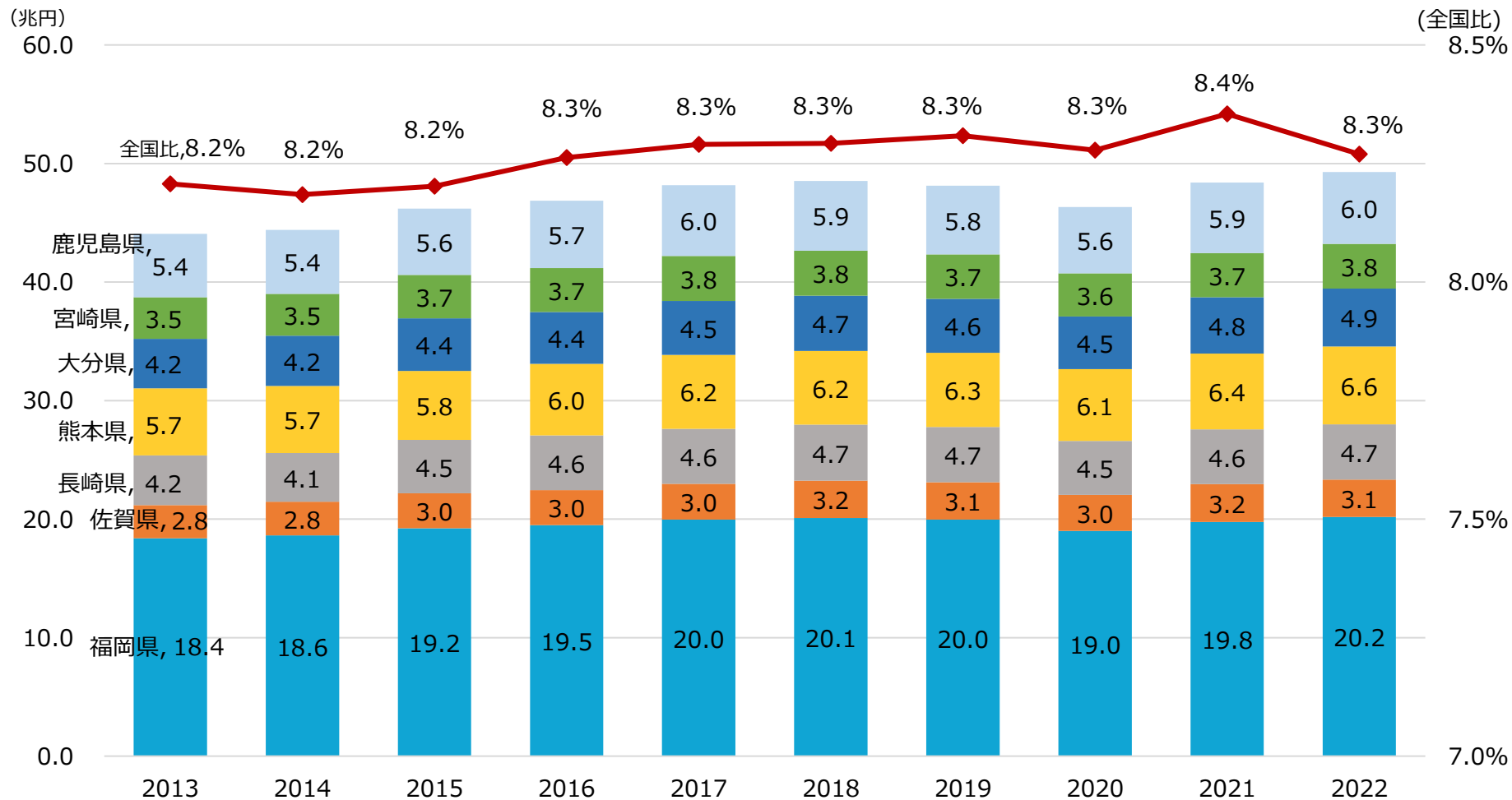


(出所) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

# 1. 九州経済の概要 ―域内総生産の推移―

2022年度の九州の域内総生産額（名目）は49兆2,710億円、前年度比+1.8%、全国比8.3%となった。

図表 1-8 九州域内総生産額（名目）・全国比の推移

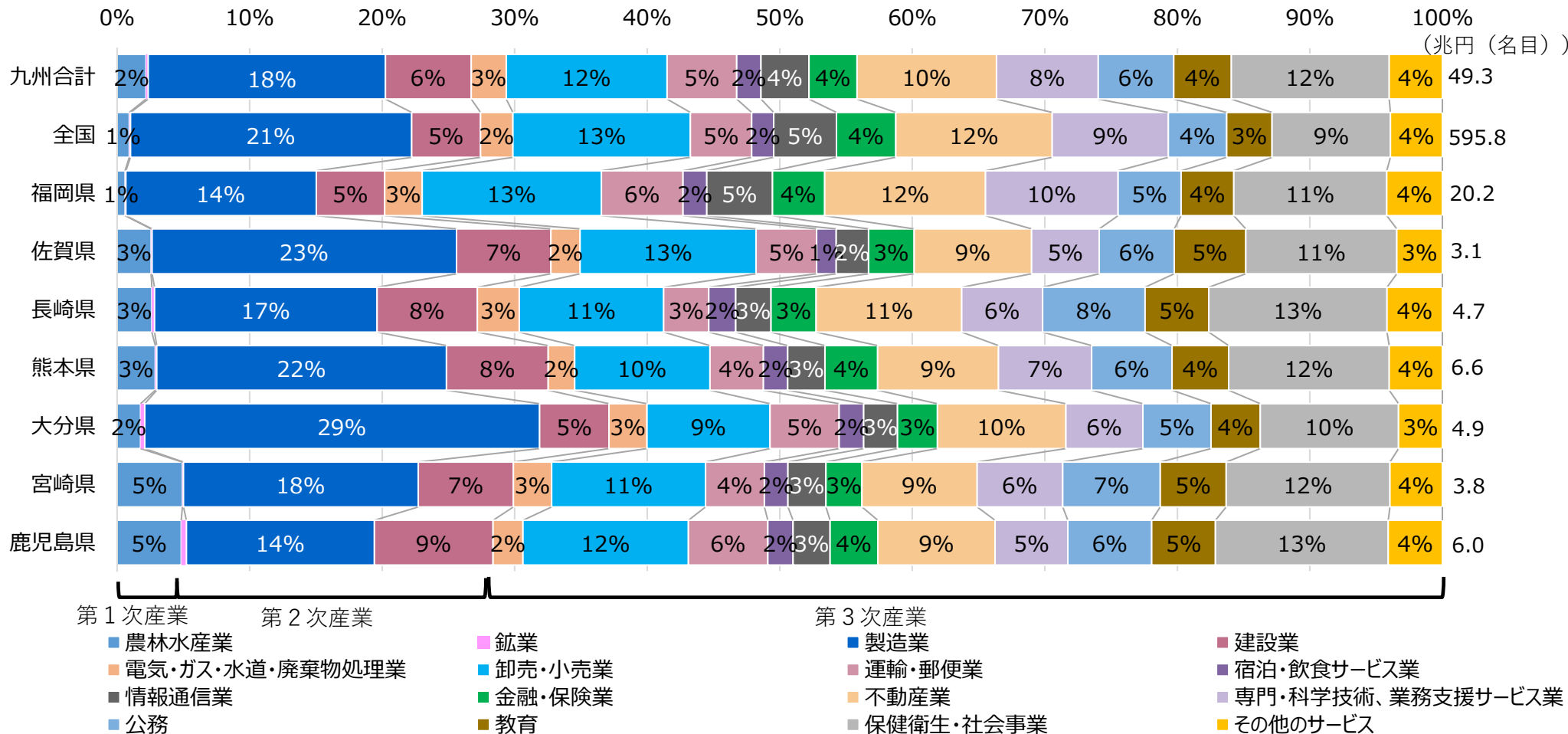


(出所) 内閣府「令和4年度県民経済計算」

# 1. 九州経済の概要 – 産業別域内総生産 –

2022年度の九州の産業別構成比は、第1次産業2.2%、第2次産業24.3%、第3次産業72.5%となっている。県別にみると福岡県の第3次産業は79.0%と全国及び九州を上回っている。また、佐賀県、熊本県、大分県の製造業の割合は全国を上回っている。

図表1-9 経済活動別県内総生産



(出所) 内閣府「令和4年度県民経済計算」

(注) 産業別構成比は域内総生産額を分母として算出しており、合計は100%にならない

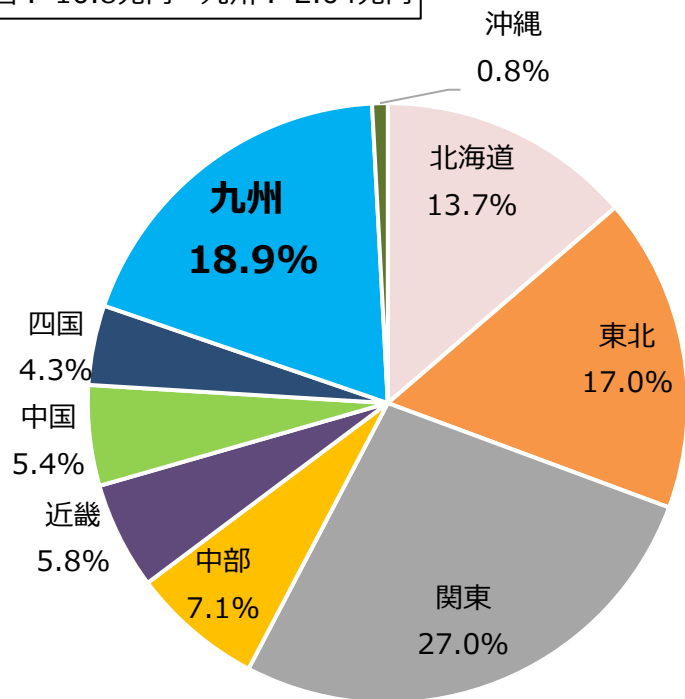
## 2. 農業 –ブロック別産出額、推移–

2024年の九州の農業産出額は約2兆円で、全国の18.9%を占める。

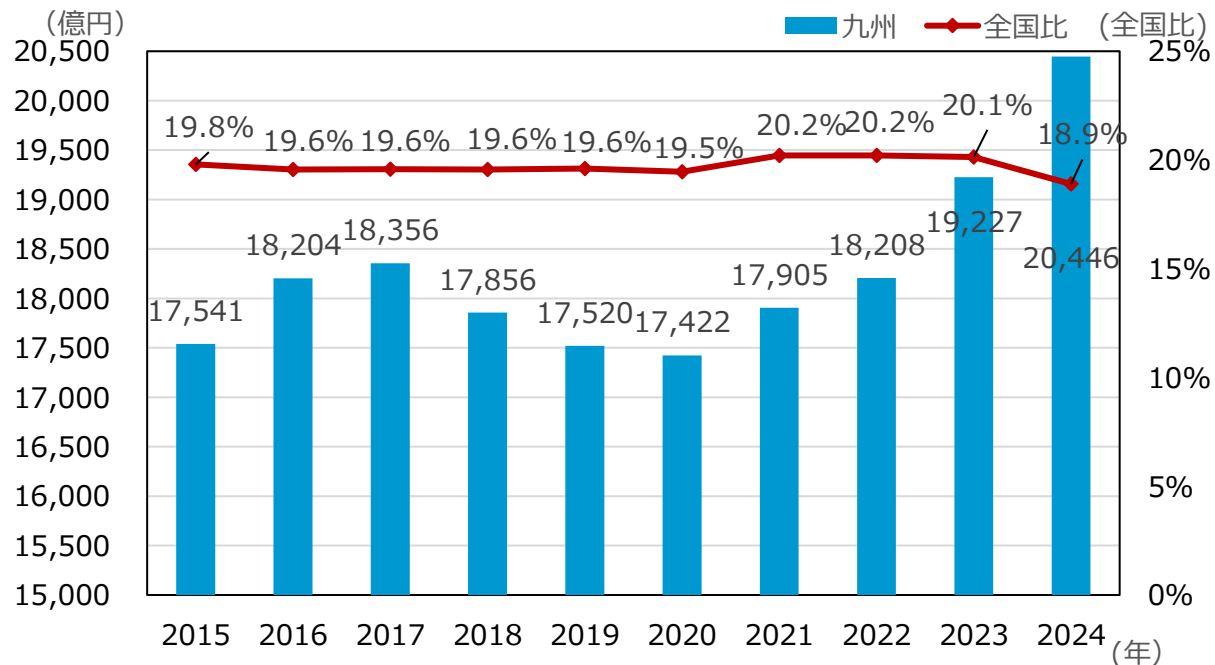
推移をみると、前年比+6.3%と4年連続で前年を上回った。

図表 2-1 ブロック別農業産出額構成比

全国：10.8兆円 九州：2.04兆円



図表 2-2 九州の農業産出額・全国比の推移



(出所) 農林水産省「令和6年生産農業所得統計」

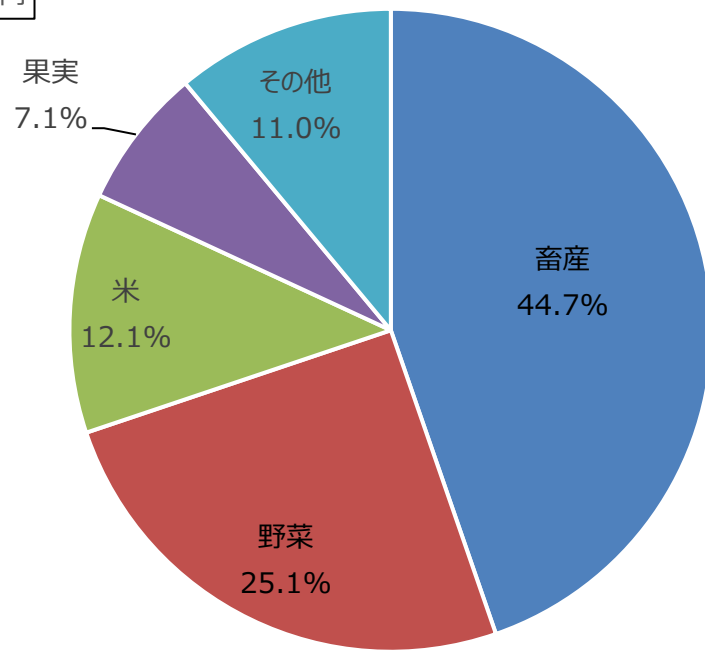
## 2. 農業 一産出額の構成比、全国比一

2024年の九州の農業産出額構成比は、畜産が全体の44.7%を占め、野菜（25.1%）、米（12.1%）と続く。

農畜産物別全国比をみると、畜産（24.7%）、野菜（20.1%）の割合が高い。

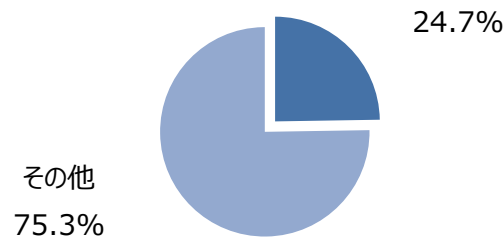
図表 2-3 九州の農業産出額構成比

九州：2.04兆円

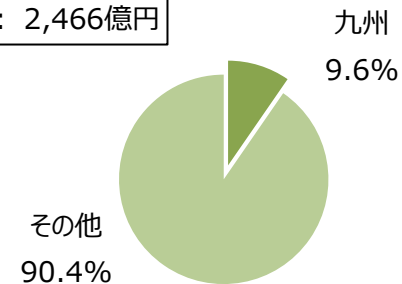


図表 2-4 九州の農畜産物別全国比

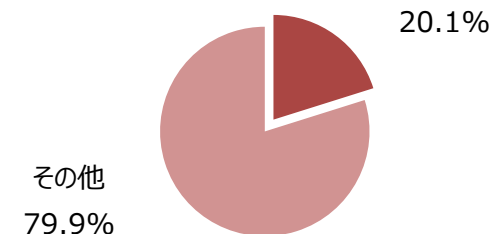
畜産：9,139億円



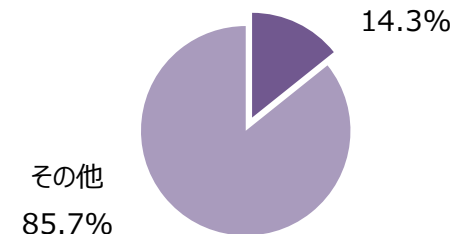
米：2,466億円



野菜：5,140億円



果実：1,442億円



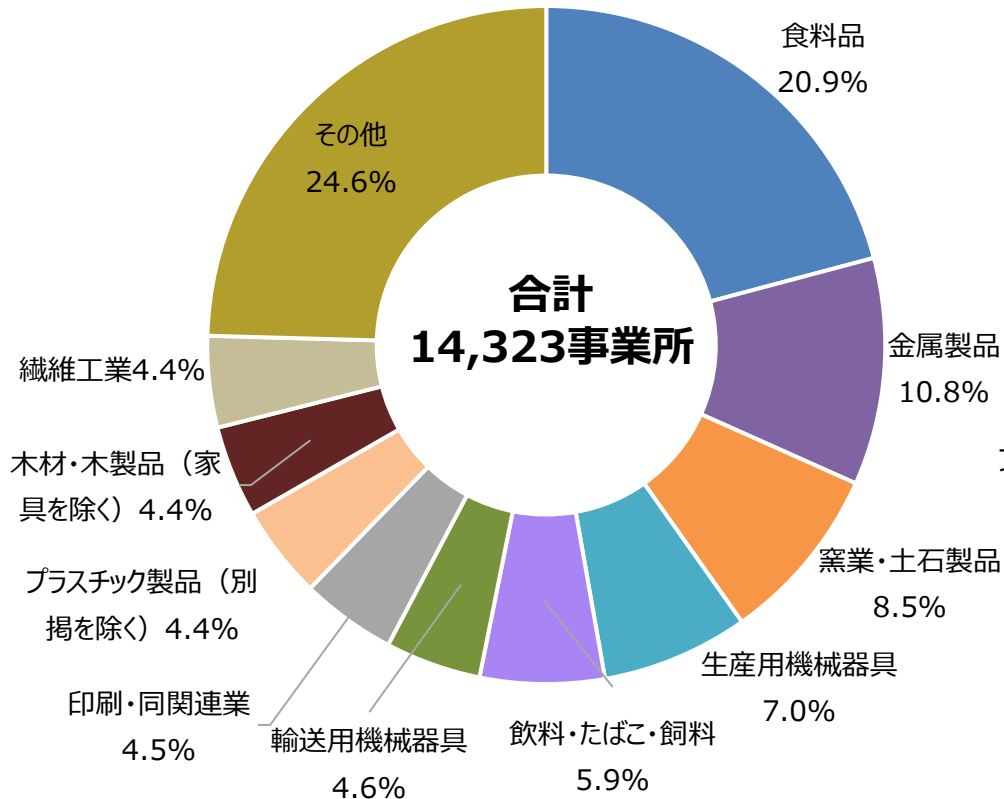
(出所) 農林水産省「令和6年生産農業所得統計」

### 3. 製造業－事業所数、従業者数－

2020年における九州の製造業の業種別事業所数をみると、食料品製造業が総事業所数の20.9%を占め、次いで金属製品製造業、窯業・土石製品製造業が続く。

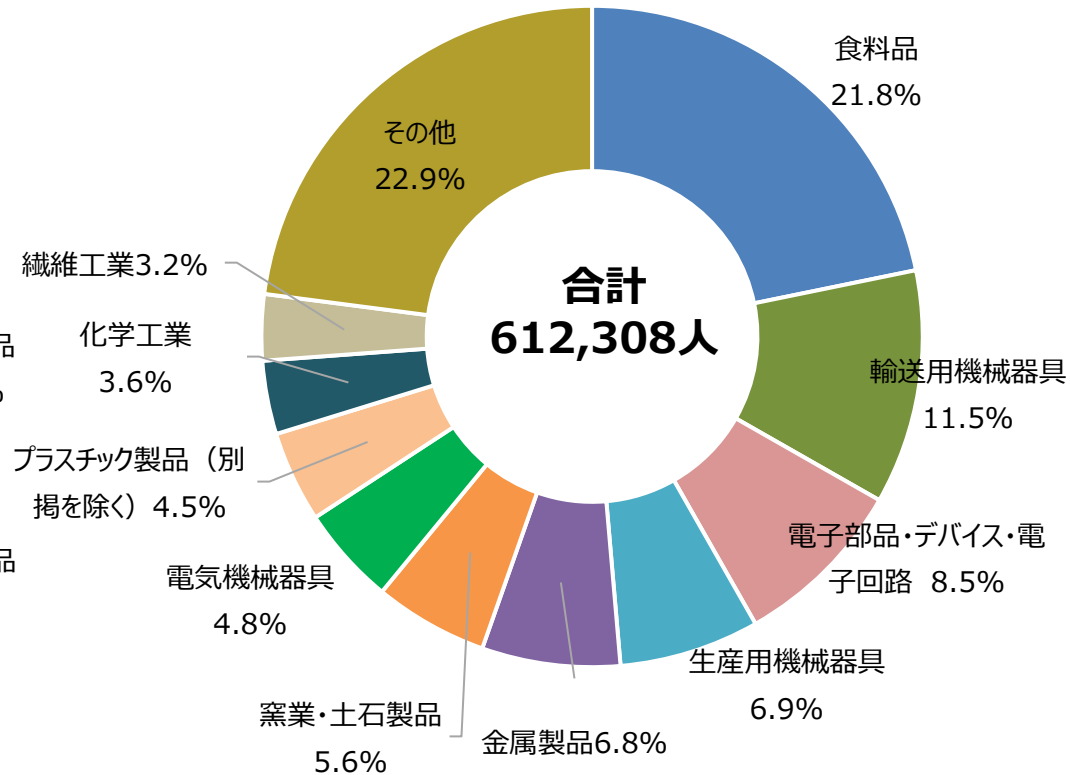
従業者数をみると、食料品製造業が全従業者数の21.8%、次いで輸送用機械器具製造業が11.5%、電子部品・デバイス・電子回路製造業が8.5%と続く。

図表3-1 九州の業種別事業所数（従業員4人以上）構成比



（出所）総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

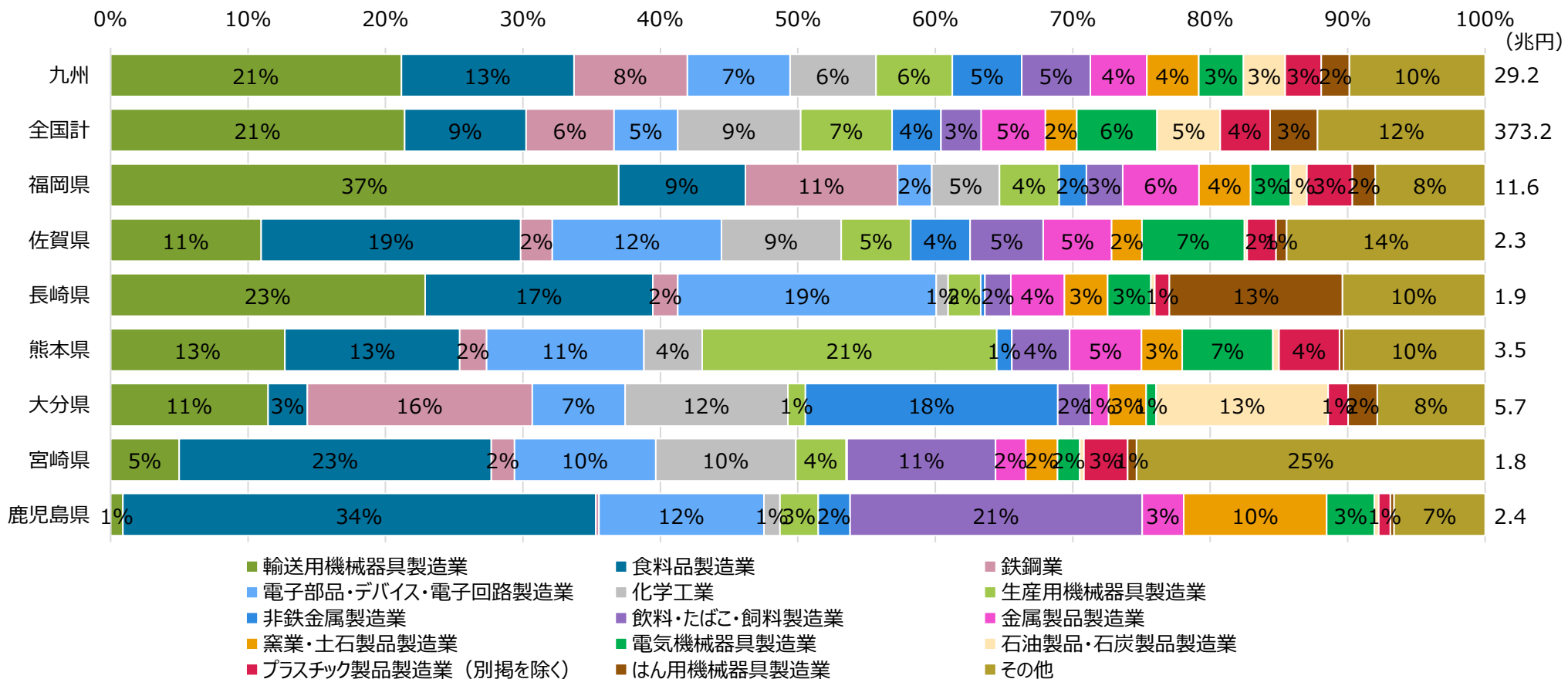
図表3-2 九州の業種別従業者数（従業員4人以上）構成比



### 3. 製造業 — 製造品出荷額等 —

2023年の九州の製造品出荷額等は29.2兆円で、業種別でみると、輸送用機械器具製造業が21%（6.2兆円）を占め、次いで食料品製造業が13%（3.7兆円）、鉄鋼業が8%（2.4兆円）と続く。県別でみると、福岡県では輸送用機械器具製造業、熊本県では生産用機械器具製造業、鹿児島県では食料品製造業の割合が高くなっている。

図表 3-3 業種別県別製造品出荷額等構成比

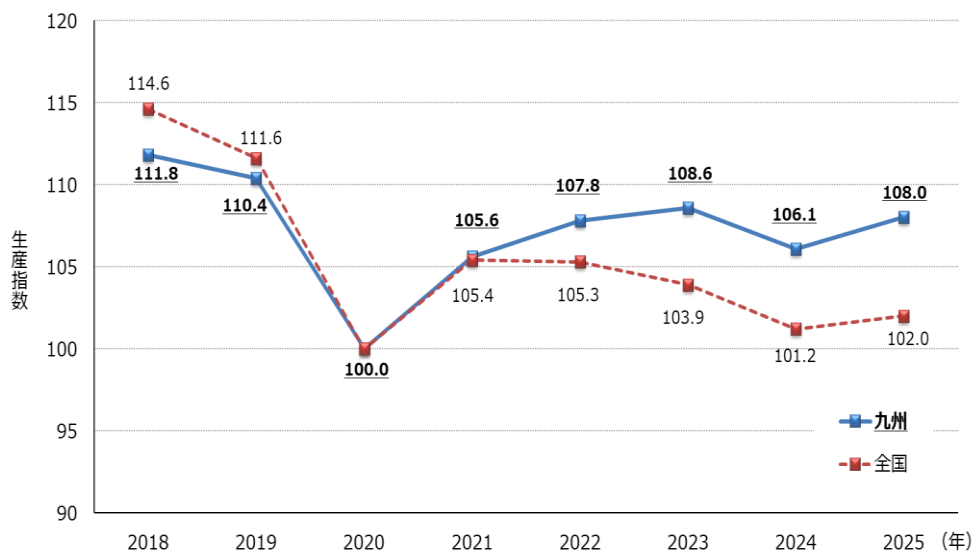


(出所) 総務省・経済産業省「令和6年経済構造実態調査」

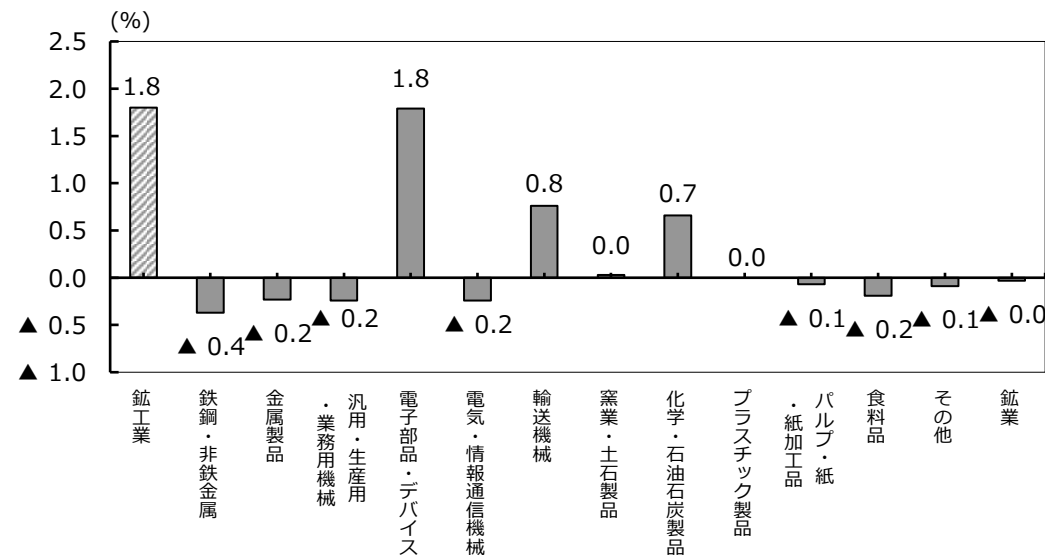
### 3. 製造業 – 鋳工業生産指数–

2025年の鋳工業生産指数（確報）は108.0となり、前年比+1.8%と2年ぶりに上昇した。IC（集積回路）の需要が堅調に推移し、「電子部品・デバイス工業」が上昇したことに加え、前年から自動車生産の持ち直しが進んだ「輸送機械工業」でも上昇となった。

図表 3-4 九州と全国の鋳工業生産指数の推移



図表 3-5 業種別寄与度 生産



図表 3-6 主な上昇・低下業種、主な上昇・低下品目 生産

【生産】・全13業種中、上昇4業種、低下9業種

	主な上昇・低下業種	前年比	主な上昇・低下品目
上昇	電子部品・デバイス工業	9.9	モス型IC（除、マイコン・ロジック・メモリ）、モス型IC（メモリ）等
	輸送機械工業	6.9	軽・小型乗用車、シャシー・車体部品等
	化学・石油石炭製品工業	7.6	有機化学製品（芳香族）、無機薬品・触媒等
低下	鉄鋼・非鉄金属工業	▲5.6	銅線、アルミニウム押出製品等
	電気・情報通信機械工業	▲3.8	回転電気機械、変圧器等
	金属製品工業	▲5.4	アルミニウム製建具、鉄骨・軽量鉄骨等

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	
九州	生産指数	111.8	110.4	100.0	105.6	107.8	108.6	106.1	108.0
	前年比(%)		▲1.3	▲9.4	5.6	2.1	0.7	▲2.3	1.8
	出荷指数	113.6	111.5	100.0	103.6	103.8	108.1	102.9	105.0
	前年比(%)		▲1.8	▲10.3	3.6	0.2	4.1	▲4.8	2.0
在庫	在庫指数	99.6	102.2	94.2	95.3	101.1	101.0	94.8	93.5
	前年比(%)		2.6	▲7.8	1.2	6.1	▲0.1	▲6.1	▲1.4
	在庫率指数	84.7	93.2	100.0	89.0	97.8	108.2	112.3	104.5
前年比(%)		10.0	7.3	▲11.0	9.9	10.6	3.8	▲6.9	
全国	生産指数	114.6	111.6	100.0	105.4	105.3	103.9	101.2	100.9
	前年比(%)		▲2.6	▲10.4	5.4	▲0.1	▲1.3	▲2.6	▲0.3

（注）年の指数及び前年比は原指数。▲印は低下を示す。

### 3. 製造業 ー半導体関連産業①（半導体関連事業所の立地状況）ー

九州地域には、CMOSイメージセンサー、車載用マイコン等で世界トップシェアを誇る大手企業、及びそうした企業を支える多数の中小企業が集積。約1,000社の企業により「**シリコンアイランド九州**」が形成され、長年にわたり九州経済の成長を牽引。

図表 3-7 九州における主な半導体関連事業所

#### 佐賀県

- ◇(株)SUMCO 九州事業所  
【シリコンウエハ】

#### 福岡県

- ◎三菱電機(株) パワーデバイス製作所 【パワー半導体】
- ローム・デバイス マニュファクチャリング(株) 筑後工場 【各種IC】
- 日清紡マイクロデバイス福岡(株) 【各種IC】

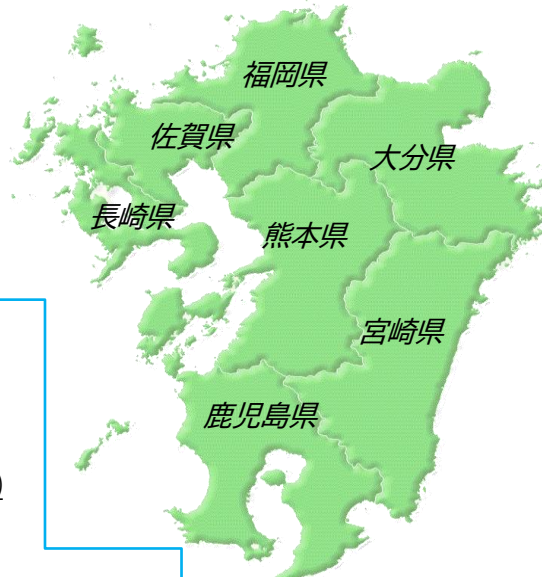
#### 長崎県

- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)  
長崎テクノロジーセンター  
【CMOSイメージセンサー】
- ◇SUMCO TECHXIV(株) 長崎工場  
【シリコンウエハ】

#### 熊本県

- (株)アムコー・テクノロジー・ジャパン 熊本地区  
【後工程受託】
- 三菱電機(株) パワーデバイス製作所 熊本工場  
【パワー半導体】
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)  
【前工程受託】
- ◎ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)  
熊本テクノロジーセンター 【CMOSイメージセンサー】
- ルネサスセミコンダクタマニュファクチュアリング(株) ■東京エレクトロン九州(株)  
川尻工場 【LSI、車載向けマイコン】 【半導体製造装置】
- ルネサスエレクトロニクス(株) 錦工場 ■(株)荏原製作所 熊本事業所  
【車載向けマイコン】 【半導体製造装置】

- ◎一貫工場 ●後工程工場 ■半導体製造装置
- 前工程工場 ◇材料



出所) 各社・各県のホームページをもとに  
九州経済産業局作成

#### 大分県

- ルネサスエレクトロニクス(株) 大分工場  
【車載向けマイコン】
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)  
大分テクノロジーセンター  
【CMOSイメージセンサー】
- (株)ジャパンセミコンダクター 大分事業所  
【各種IC】
- (株)アムコー・テクノロジー・ジャパン 大分地区、臼杵地区  
【後工程受託】

#### 宮崎県

- ◎ラピスセミコンダクタ(株) 宮崎工場  
【各種IC】
- ◇SUMCO TECHXIV(株) 宮崎工場  
【シリコンウエハ】

#### 鹿児島県

- ◎ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)  
鹿児島テクノロジーセンター  
【アナログLSI】
- 京セラ(株) 鹿児島川内工場  
【半導体部品等】
- ◎フェニテックセミコンダクター(株) 鹿児島工場
- 京セラ(株) 鹿児島霧島工場  
【積層セラミックコンデンサ等】

### 3. 製造業 ー半導体関連産業② (半導体エコシステム形成) ー

九州地域では、設計から研究開発、製造、装置、素材・材料等への投資に加え、人材派遣や物流といった関連産業への投資も拡大しており、エコシステムの形成が加速。2030年までに約6.2兆円の投資が見込まれており、世界の半導体サプライチェーンの中核を担う「新生・シリコンアイランド九州」の実現に向けて進展中。

図表3-8 半導体関連産業の集積が進む九州

#### 福岡県

- ◆ TOPPANテクニカル・デザインセンター(株)【各種設計】
- ◆ 益心科SSB(株)【各種設計/日本法人設立】
- ◇ 三菱ケミカル(株)九州事業所【合成石英/生産能力増強】
- ◇ 双日(株)・メキシケムジャパン【フッ素化合物/工場新設】
- ★ (株)アムコー・テクノロジー・ジャパン【研究開発/拠点新設】
- ★ 東京エレクトロン九州(株)【ソフトウェア開発/拠点新設】
- ◎ 三菱電機(株)パワーデバイス製作所  
【パワー半導体/工場増設】
- ローム・アポロ(株)筑後工場  
【SiCパワーデバイス/工場増設】
- ※ アミタホールディングス(株)【シリコン再資源化/工場増設】

#### 佐賀県

- ◇ (株)SUMCO【シリコンウエハ/工場増設】
- ★ (株)ワイ・デー・ケー九州【装置設計、開発/拠点新設】

#### 長崎県

- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)長崎TEC  
【イメージセンサー/工場増設】
- ◇ クアーズテック合同会社長崎事業所【セラミック/設備増強】

#### 鹿児島県

- ◇ 京セラ(株)国分工場 ※積層セラミックコンデンサ  
【セラミック部品、MLCC※等/工場増設】
- ◇ マイクロカット(株)【製造装置用部材/工場増設】



- |        |         |         |
|--------|---------|---------|
| ○ 一貫工場 | ○ 前工程工場 | ● 後工程工場 |
| ◆ 設計拠点 | ■ 製造装置  | ◇ 材料・部材 |
| ★ 開発拠点 | ※ 関連産業  |         |

#### 熊本県

- ◆ メイビスデザイン(株)【各種設計/拠点新設】
- ◇ 東京応化工業(株)【高純度化学薬品/工場新設】
- ◇ 日本エアリード合同会社【高純度ガス/プラント増設】
- ◇ エア・ウォーター(株)【特殊ガス、薬品/拠点新設】
- ◇ 富士フイルムマテリアルマニュファクチャリング(株)九州エリア  
【先端半導体材料/設備増強】
- ★ 東京エレクトロン九州(株)【製造装置開発/拠点新設】
- ◎ ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)熊本TEC  
【イメージセンサー/工場増設】
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)  
【ファウンドリ/工場新設・増設】
- 平田機工(株)【製造装置部品/工場拡張、設備増強】
- (株)くまさんメディクス【製造装置部品/工場増設】
- (株)テラプローブ【テスト・評価・解析/設備増強】
- ※ (株)SCREENセミコンダクターソリューションズ  
【保守サービス/拠点新設】
- ※ (株)ワールドインテック【人材派遣、研修/拠点新設】

#### 大分県

- (株)A Kシステム【製造装置/工場増設】
- エスティケイテクノロジー(株)【機械装置/工場増設】
- (株)デンケン【テスト・評価・解析/設備増強】

#### 宮崎県

- ◆ 旭化成マイクロテクノロジー(株)【設計】
- ◆ ローム(株)宮崎デザインセンター【設計】
- ローム(株)・ラピスセミコンダクタ(株)  
【SiCパワーデバイス/工場増設】

出所) 一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会「九州半導体関連企業サプライチェーンマップ」をもとに九州経済産業局作成

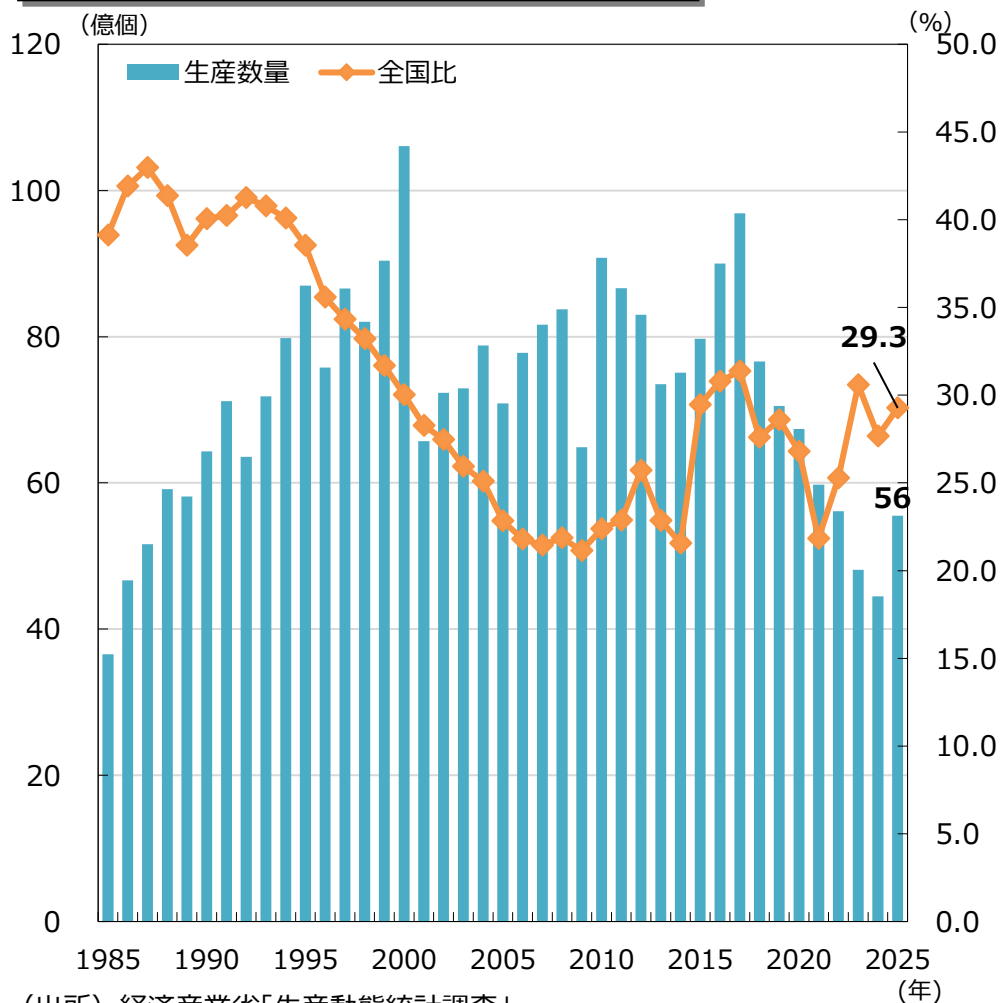
注) 2023年度以降に稼働開始した拠点を中心に掲載。

### 3. 製造業－半導体関連産業（集積回路（IC）生産数量、金額）－

2025年のIC生産は、高付加価値品などを中心に堅調に推移。生産金額は3年連続で1兆円を超えた。

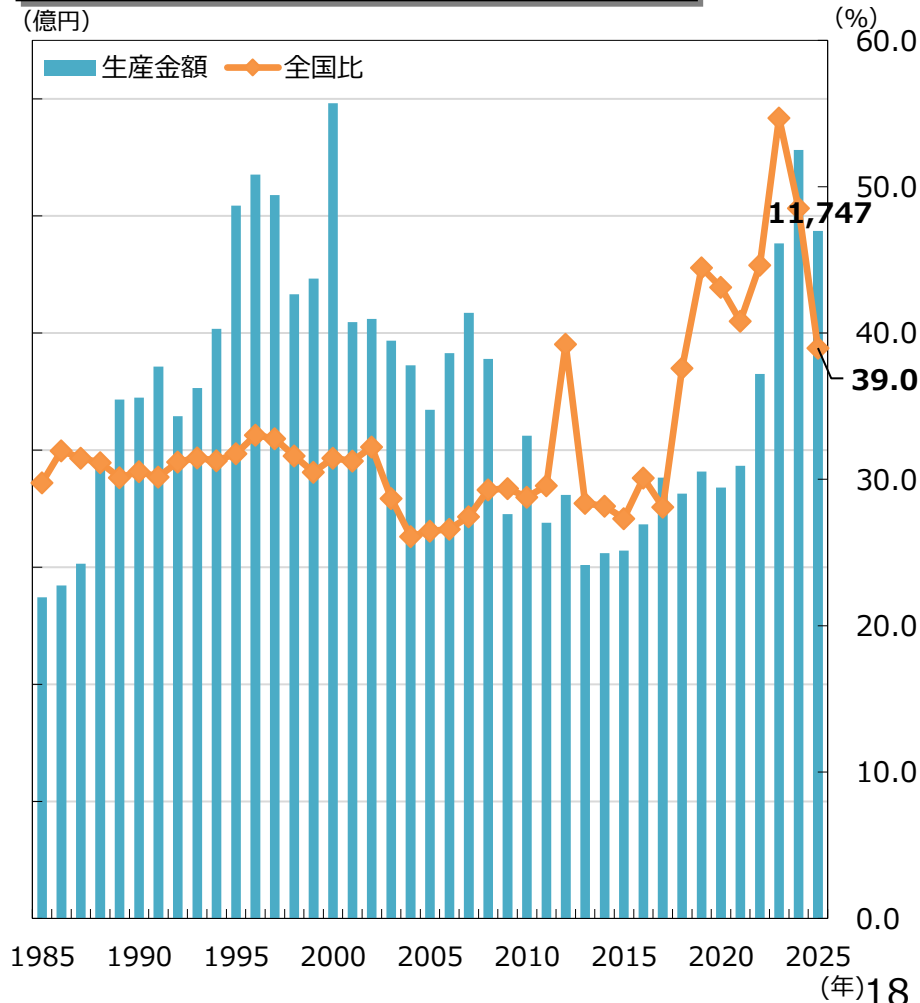
※2025年5月より一部事業者からの報告方法が変更となり、生産数量は変更以前よりも高めに、生産金額は変更以前よりも低めに算出されているため、過去との比較・分析には注意が必要。

図表 3-8 九州のIC生産数量・全国比の推移



(出所) 経済産業省「生産動態統計調査」

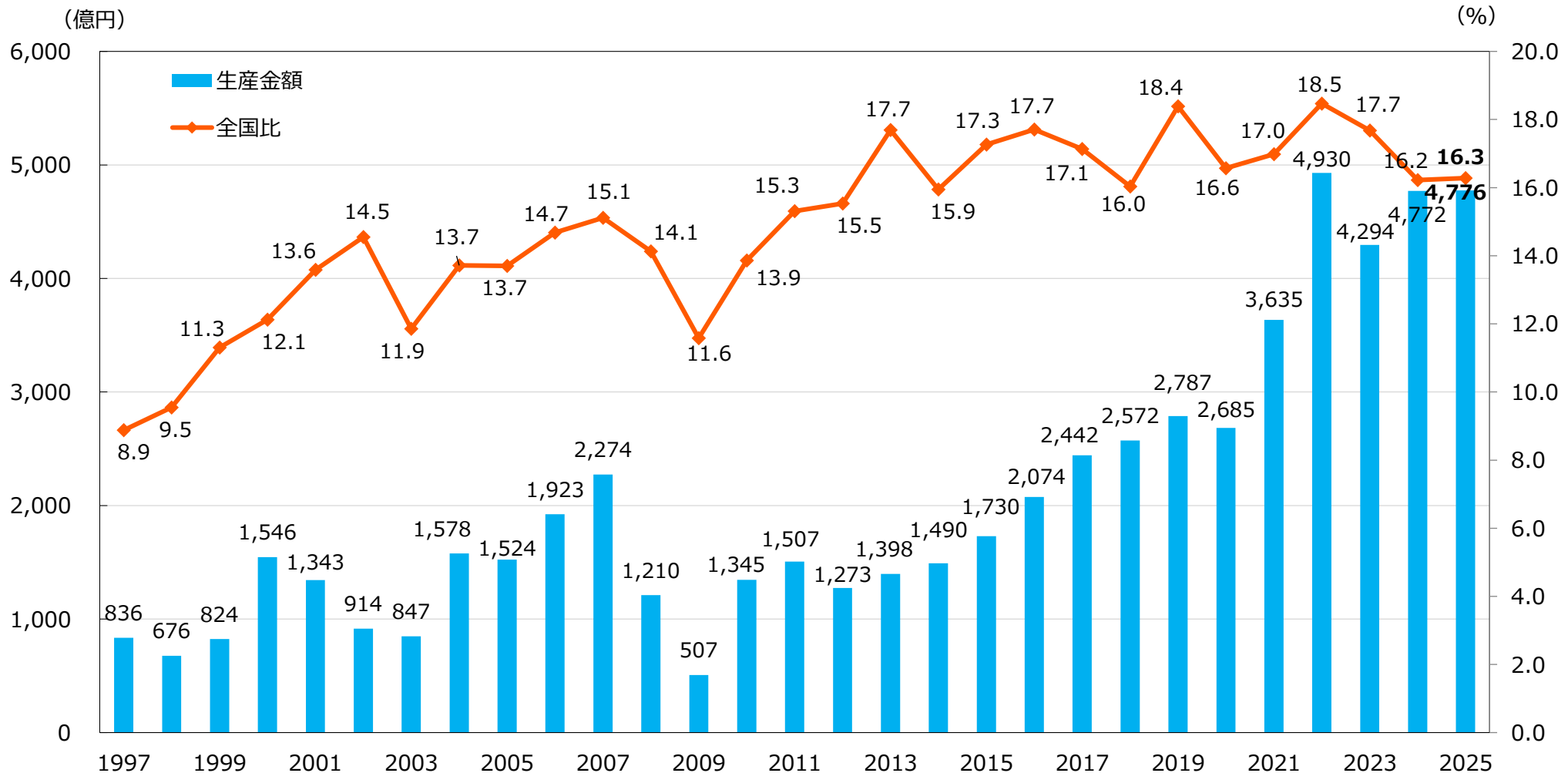
図表 3-9 九州のIC生産金額・全国比の推移



### 3. 製造業－半導体関連産業（半導体製造装置生産金額）－

2025年の半導体製造装置の生産金額は、国内外からの堅調な需要に支えられ、高水準の生産となった。

図表3-10 九州の半導体製造装置生産金額・全国比の推移



(出所) 経済産業省「生産動態統計調査」

### 3. 製造業—自動車関連産業（自動車関連事業所の立地状況）—

九州には、北部に完成車メーカー4社が立地し、約148万台/年の生産能力を持つ、世界有数の生産拠点到成長。また、自動車部品の製造・加工等を担う関連企業も多く集積。

図表3-11 九州における主な自動車関連事業所

#### 【トヨタ自動車九州】



LEXUS RX



エンジン

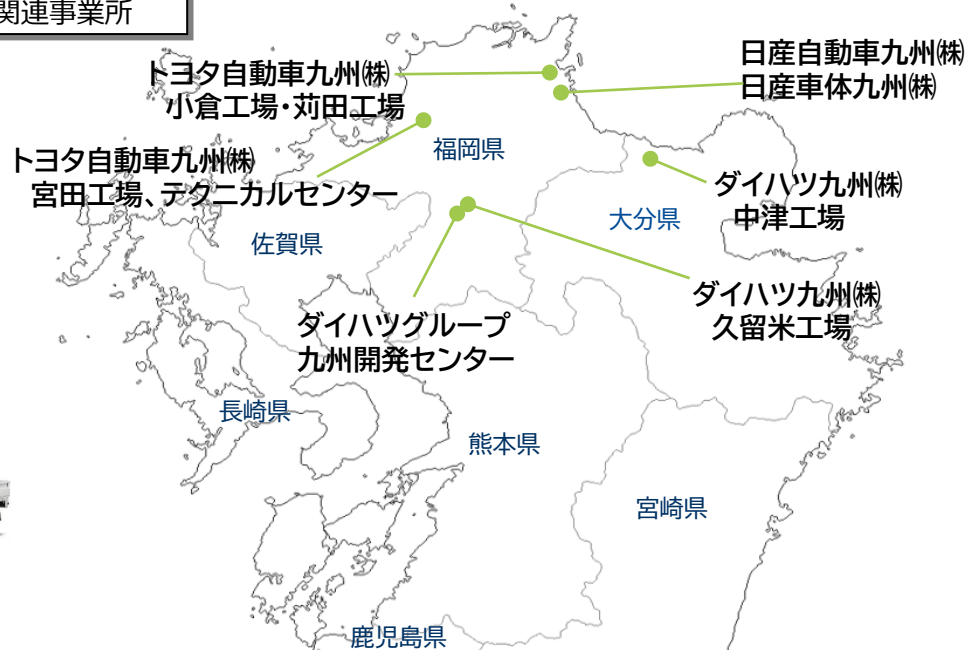
#### 【ダイハツ九州】



ムーヴ



ハイゼットトラック



#### 【日産自動車九州】



セレナ



エクストレイル

#### 【日産車体九州】



キャラバン



パトロール

	日産自動車九州(株)	日産車体九州(株)	トヨタ自動車九州(株)			ダイハツ九州(株)	
			宮田工場	苅田工場	小倉工場	大分(中津)工場	久留米工場
生産開始	1976年12月 (車両生産)	2009年12月	1992年12月	2005年12月	2008年8月	2004年11月	2008年8月
生産能力	<b>50万台</b>	<b>12万台</b>	<b>40万台</b>	<b>44万基</b>	<b>47万基</b>	<b>46万台</b>	<b>32.4万基</b>
生産車種 (品目)	セレナ エクストレイル ローグ	インフィニティQX80 パトロール アルマーダ エルグランド キャラバン	レクサス ES レクサス UX レクサス RX レクサス NX	エンジン	ハイブリッド部品	ムーヴ ムーヴキャンバス タフト ミライース ハイゼットトラック ハイゼットカーゴ アトレ	エンジン トランスミッション部品

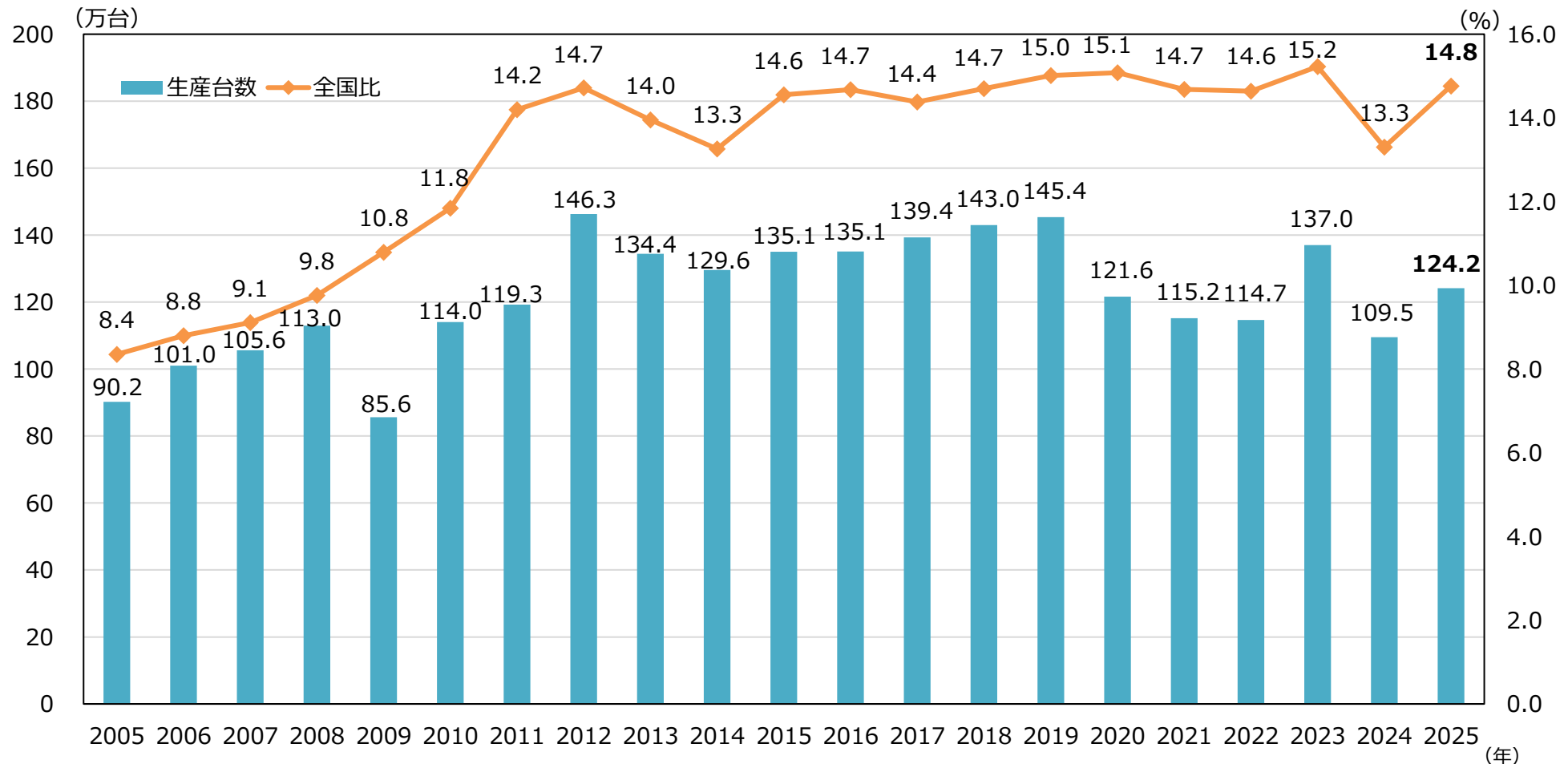
(写真) 各社ウェブサイト

(出所) 「北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクト」パンフレット等

### 3. 製造業－自動車関連産業（四輪自動車生産台数）－

2025年の四輪自動車生産台数は、124.2万台（前年比＋13.4%）と、2年ぶりに増加。工場稼働停止などの影響で生産減となった前年からの持ち直しが進み、2005年以降、21年間で10番目に高い生産台数となった。米国の関税措置の影響は限定的であった。

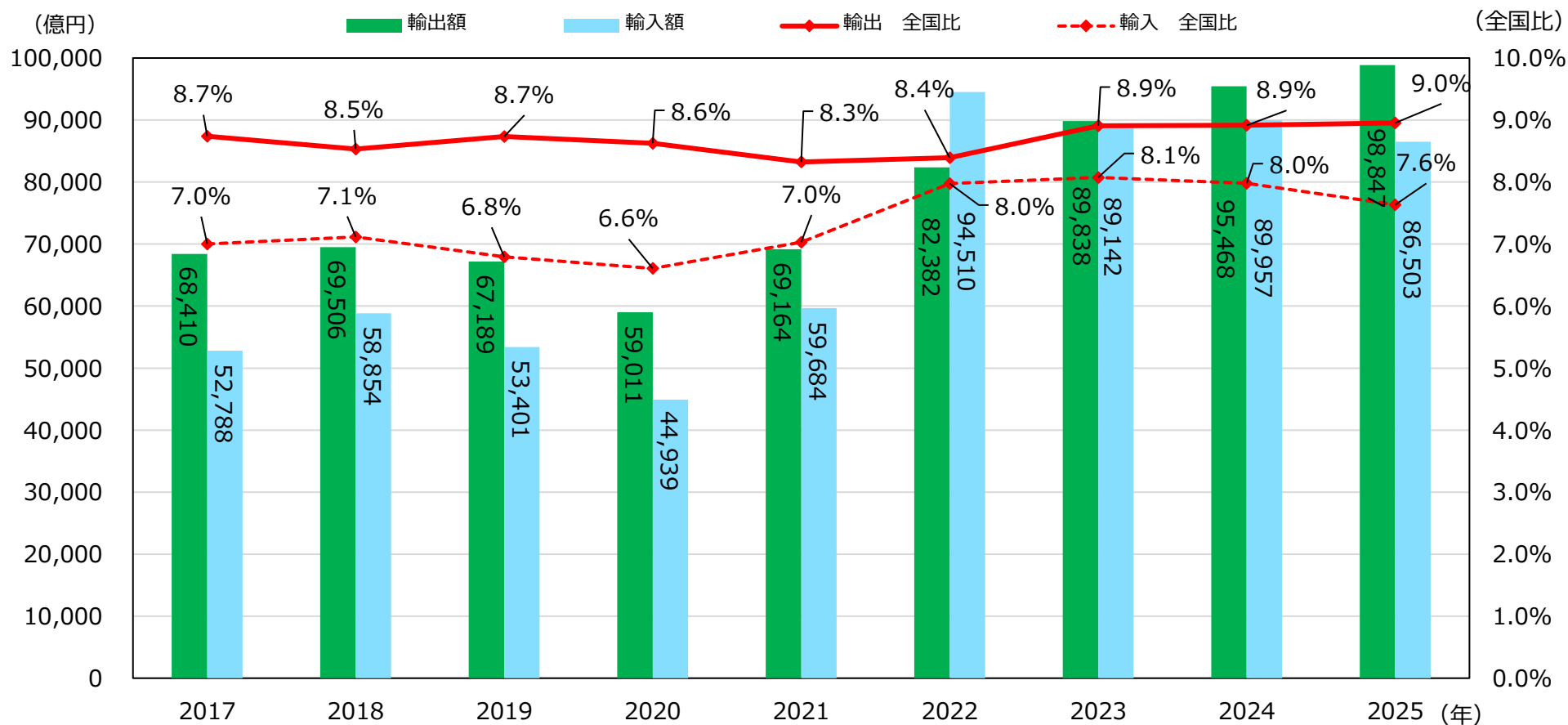
図表3-● 九州の四輪自動車生産台数・全国比の推移



## 4. 貿易 —輸出入額の推移—

2025年の九州の輸出額は9兆8,847億円（全国比9.0%）、輸入額は8兆6,503億円（全国比7.6%）と、輸出額は5年連続で前年を上回り、3年連続輸出超過となった。

図表4-1 輸出入額、全国比の推移



(出所) 財務省「貿易統計」

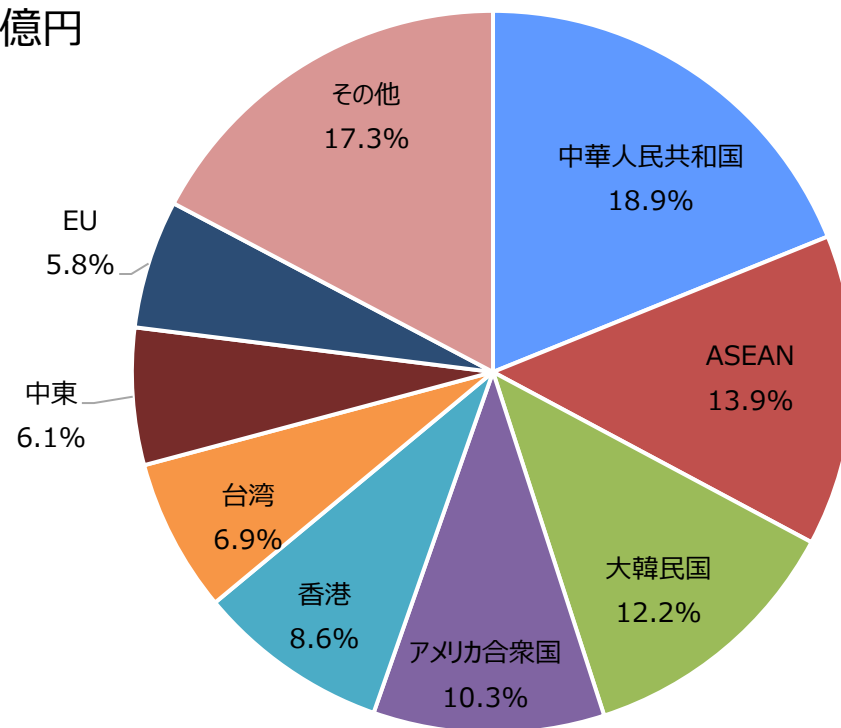
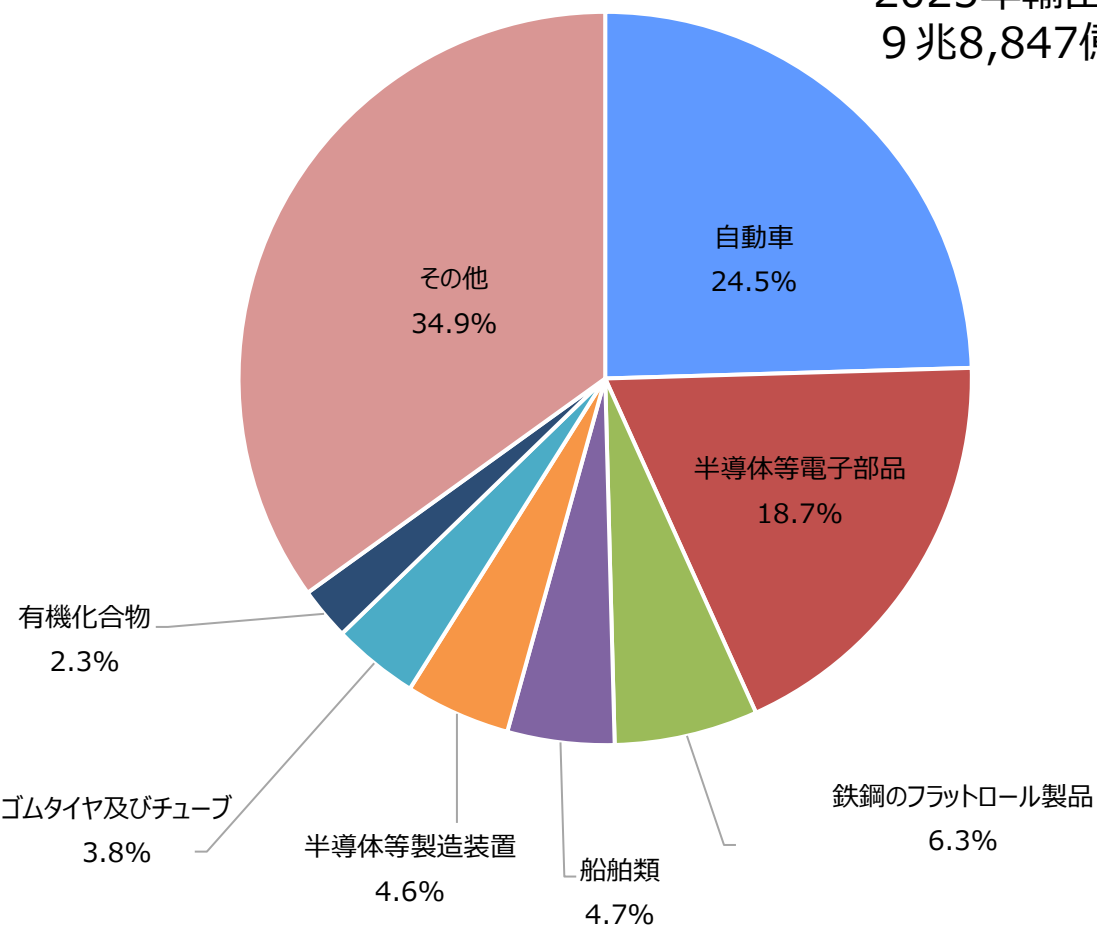
## 4. 貿易 —輸出品目、輸出先—

輸出品目は、自動車 that 24.5% と最も多く、次いで半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品と続く。国・地域別では、中国の割合が18.9% と最も多く、次いでASEAN、韓国と続く。

図表 4 - 2 輸出品目 (2025年)

図表 4 - 3 輸出先 (2025年)

2025年輸出額  
9兆8,847億円



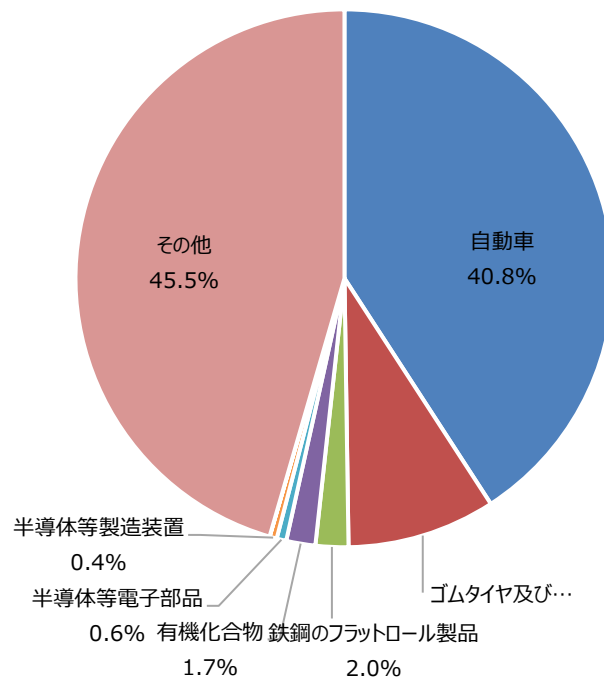
(出所) 財務省「貿易統計」

# 【トピックス】 対米輸出額の変化～米国関税の影響～

2025年4月、米国政府による自動車に対する追加関税措置及び相互関税の適用以降、九州管内（※）の対米輸出総額は、2025年5月～12月の8か月のうち6か月で前年同月を下回った。輸出総額の中で約4割と最も大きな割合を占める自動車の輸出金額と輸出台数も同期間において概ね同様の推移を示した。

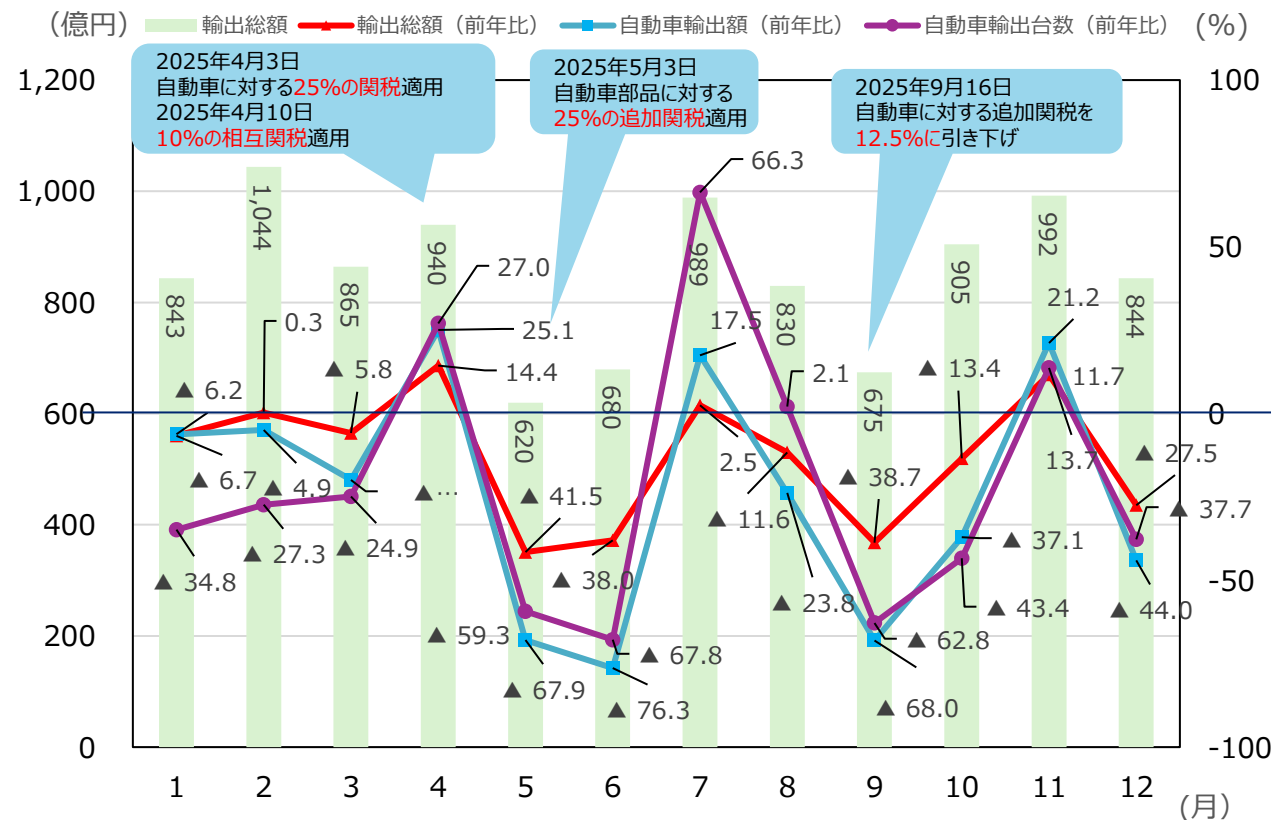
一方、2025年の四輪自動車生産台数は、124.2万台（前年比+13.4%）と、2年ぶりに増加となり、生産面における米国の関税措置の影響は限定的であった。（P21参照）

図表 4-3 対米輸出品目（2025年）



（出所）財務省「貿易統計」

図表 4-4 対米輸出総額および対米自動車輸出額、台数の前年比の推移（2025年）



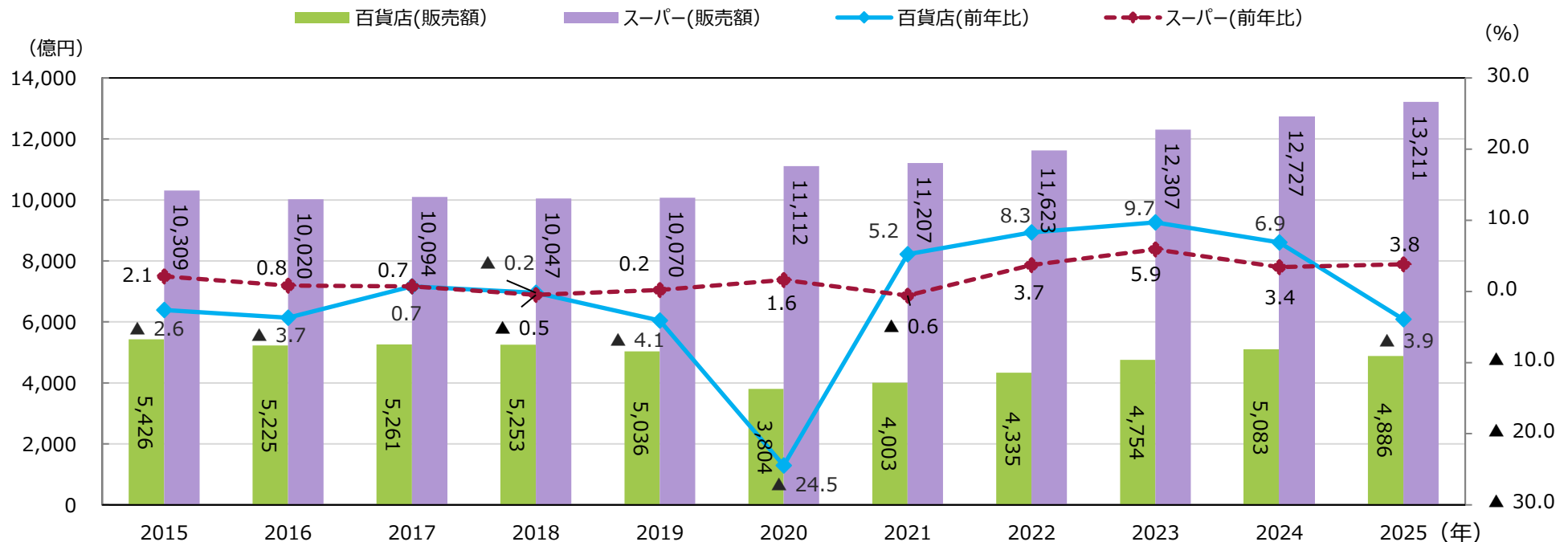
※門司税関と長崎税関の合計から山口県と沖縄県の港からの輸出分を除いた輸出額、輸出台数。

## 5. 消費 – 百貨店・スーパー販売額の推移 –

2025年の九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額の前年比（全店）は+1.6%（1兆8,097億円、全国比7.9%）と5年連続で前年を上回った。

2025年の業態別販売額の前年比（全店）は、百貨店が前年比▲3.9%（4,886億円、全国比7.9%）と5年ぶりの減少、スーパーが前年比+3.8%（1兆3,211億円、全国比7.9%）と4年連続の増加となった。

図表5-1 百貨店・スーパー業態別販売額の年別推移（九州・沖縄 全店）



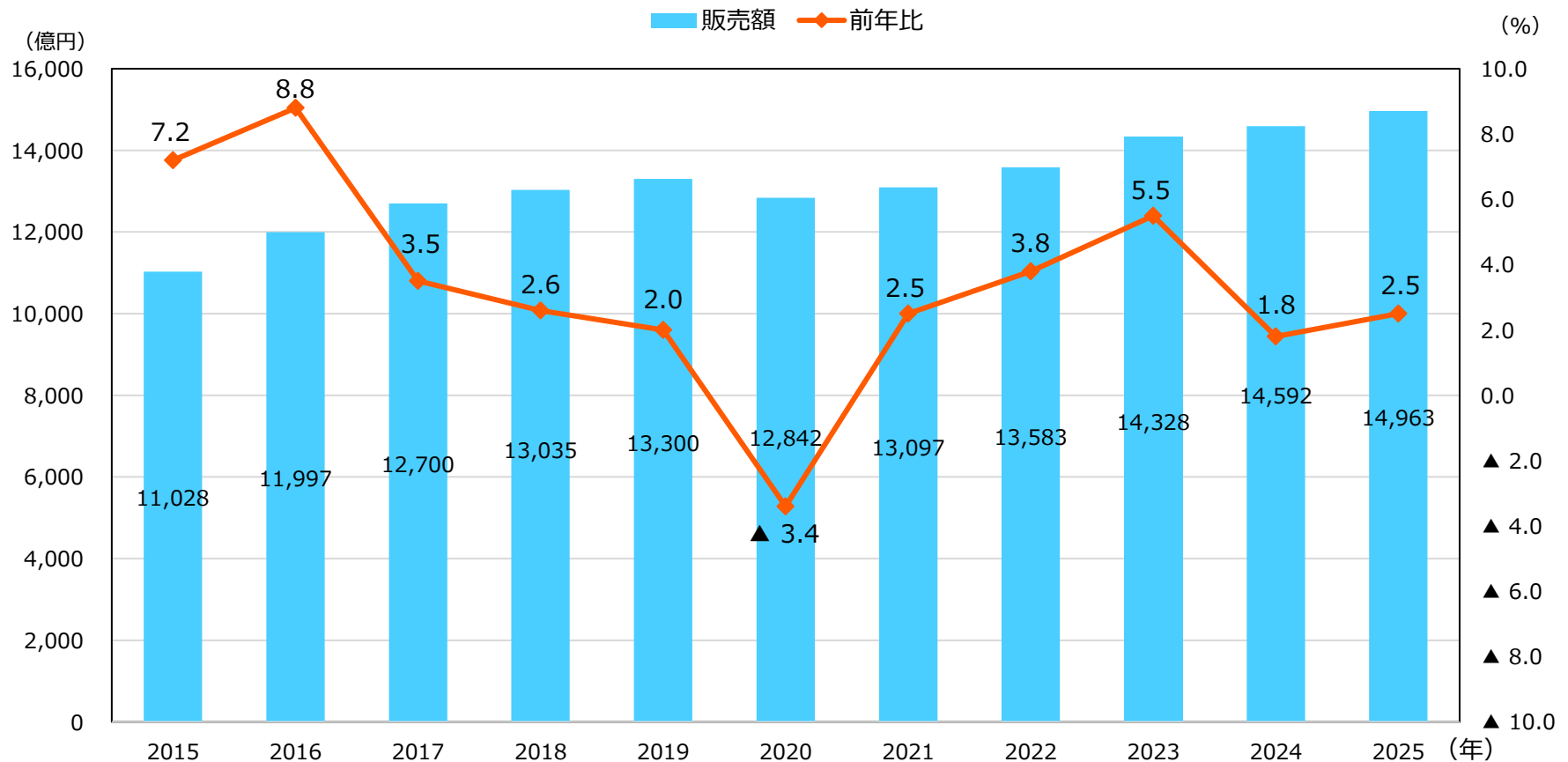
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

## 5. 消費 – コンビニエンスストア販売額 –

2025年の九州・沖縄のコンビニエンスストア販売額の前年比(全店)は+2.5%(1兆4,963億円、全国比11.2%)と5年連続で前年を上回った。

図表5-2 コンビニエンスストア販売額の年別推移(九州・沖縄 全店)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

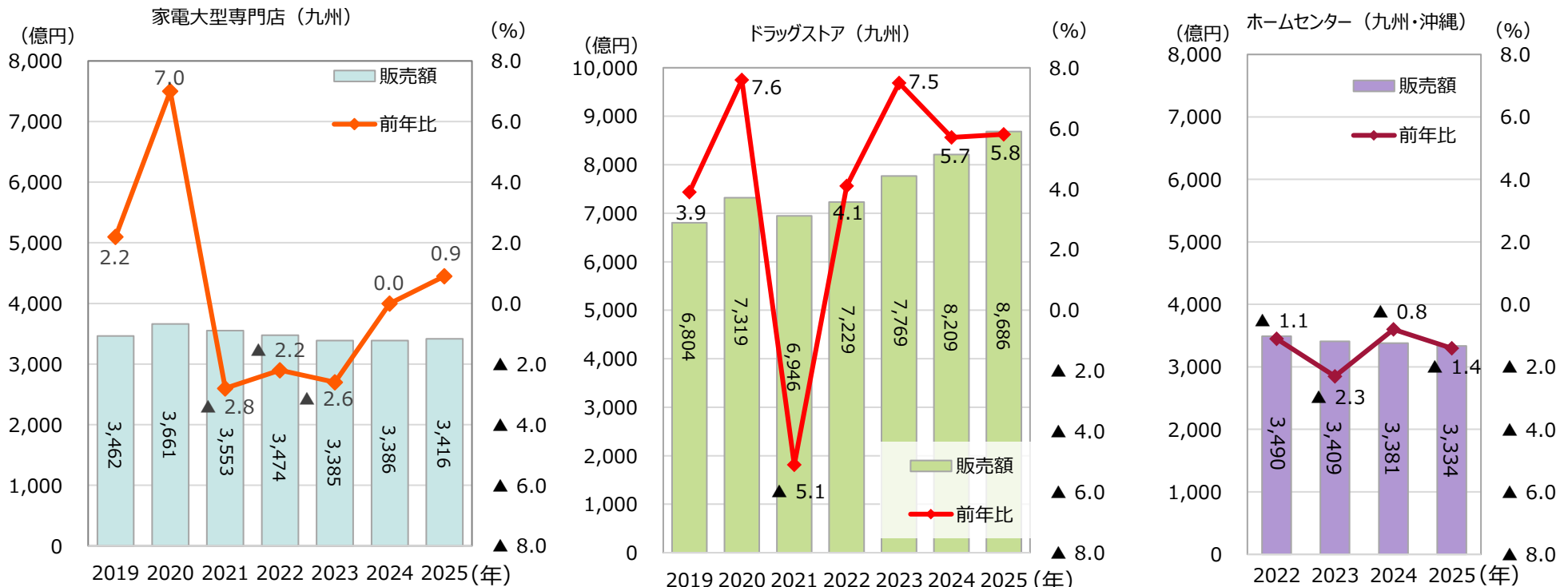
## 5. 消費 – 家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター –

2025年の九州の家電大型専門店販売額の前年比（全店）は+0.9%（3,416億円、全国比6.9%）と5年ぶりに前年を上回った。

九州のドラッグストア販売額の前年比（全店）は+5.8%（8,686億円、全国比9.2%）と4年連続で前年を上回った。

九州・沖縄のホームセンター販売額の前年比（全店）は▲1.4%（3,334億円、全国比9.8%）と4年連続で前年を下回った。

図表5-3 専門量販店の業態別販売額の年別推移



（出所）経済産業省「商業動態統計」

（注）前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

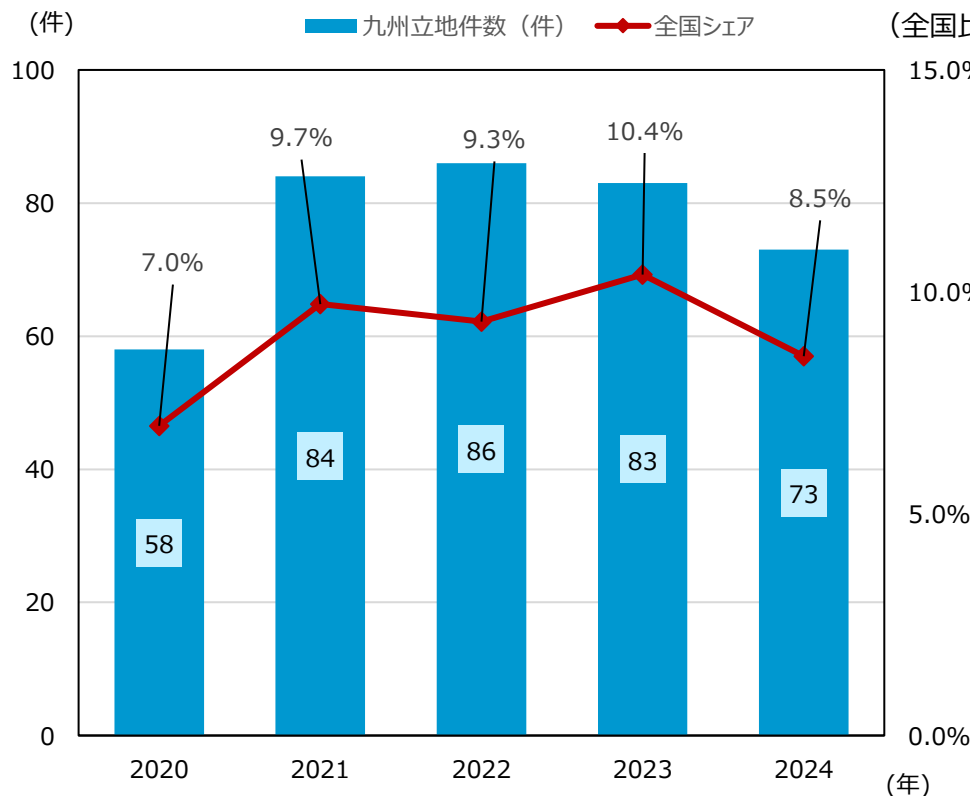


## 7. 設備投資 – 工場立地件数と立地面積 –

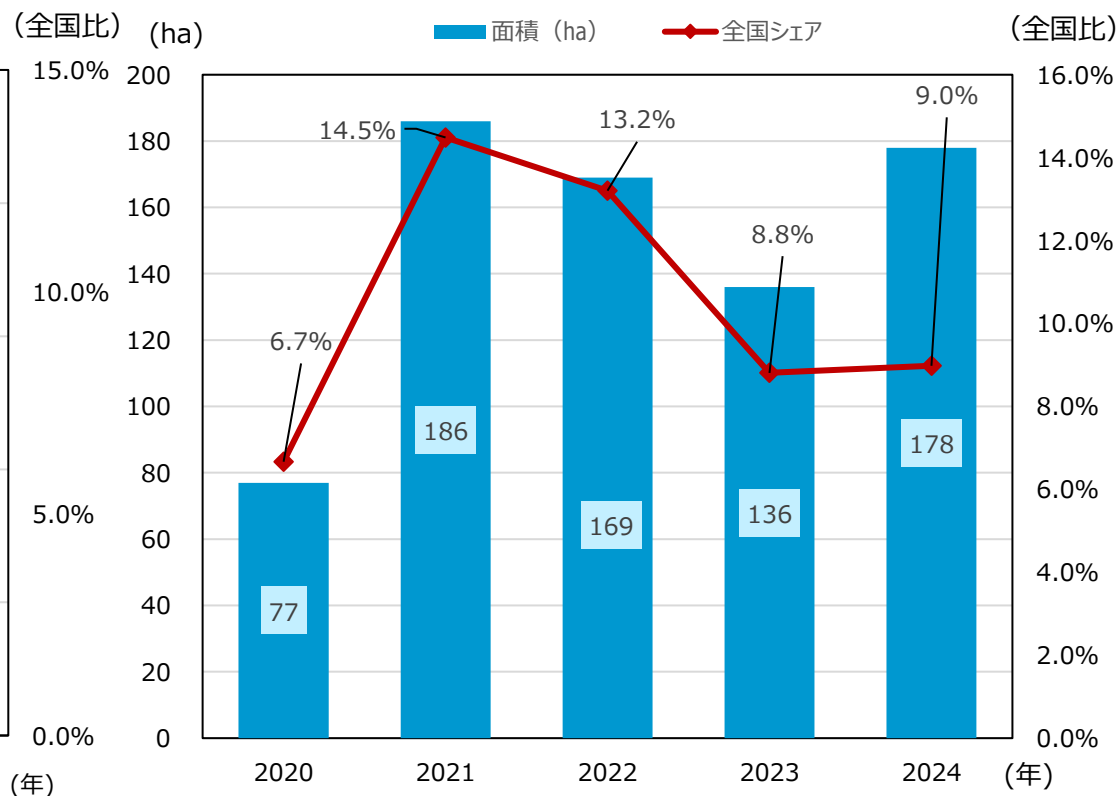
2024年の九州の工場立地件数は73件（前年比▲12.0%）となり、2年連続で減少し、全国に対する割合は8.5%となった。

立地面積は178ha（前年比+30.9%）となり、3年ぶりに増加し、全国に対する割合は9.0%となった。

図表 7-1 九州の工場立地件数の推移



図表 7-2 九州の工場立地面積の推移

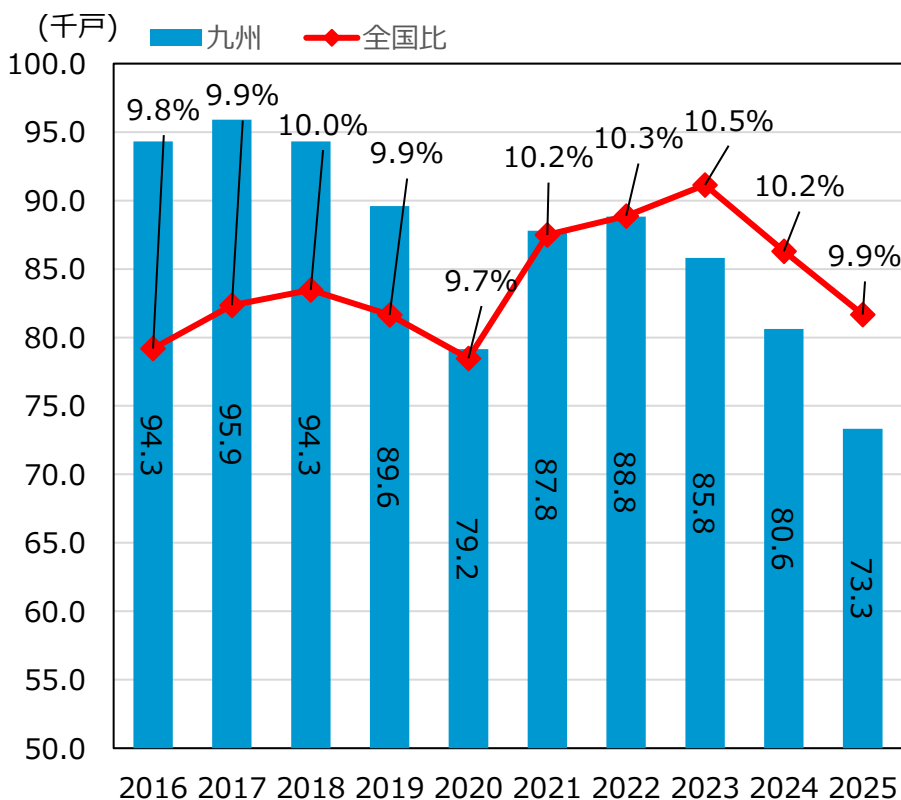


## 8. 住宅－新設住宅戸数、床面積－

2025年の九州の新設住宅戸数は、7万3329戸（前年比▲9.1%）となり、3年連続で前年を下回った。また、全国では約74万戸となり、九州のシェアは9.9%となった。

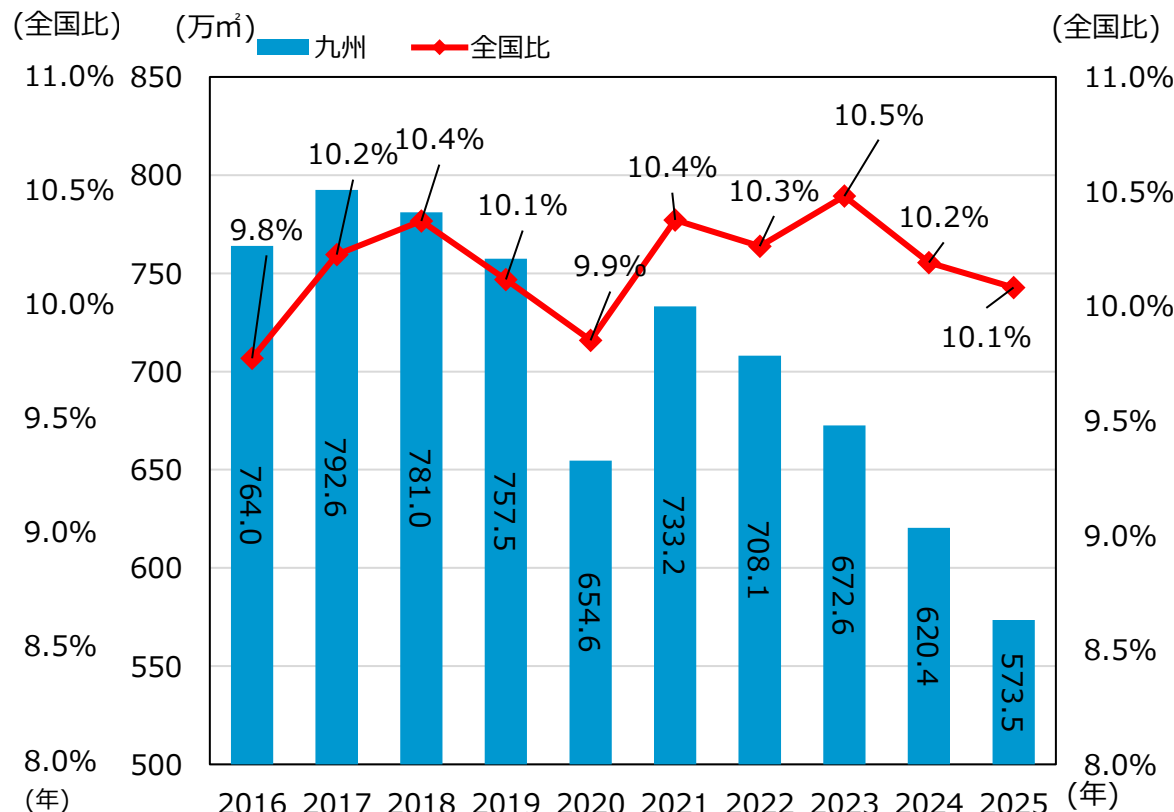
2025年の九州の新設住宅床面積は、約574万㎡（前年比▲7.6%）となり、4年連続で前年を下回った。また、全国では約5,688万㎡となり、九州のシェアは10.1%となった。

図表 8-1 九州の新設住宅戸数・全国比の推移



(出所) 国土交通省「建築着工統計調査」

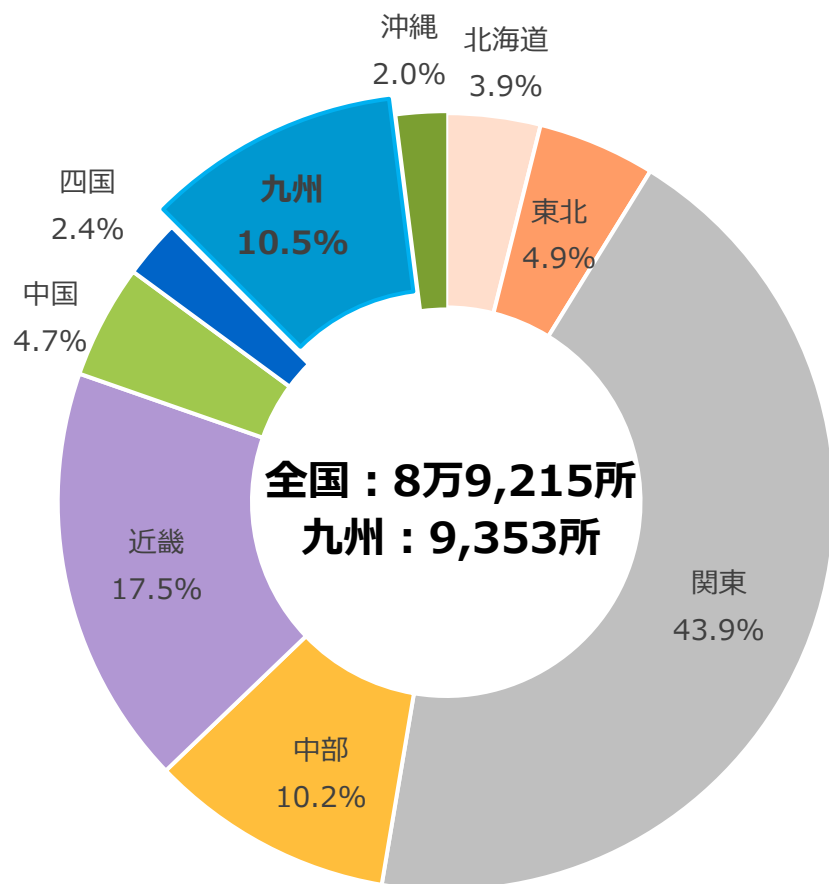
図表 8-2 九州の新設住宅 床面積 (合計)・全国比の推移



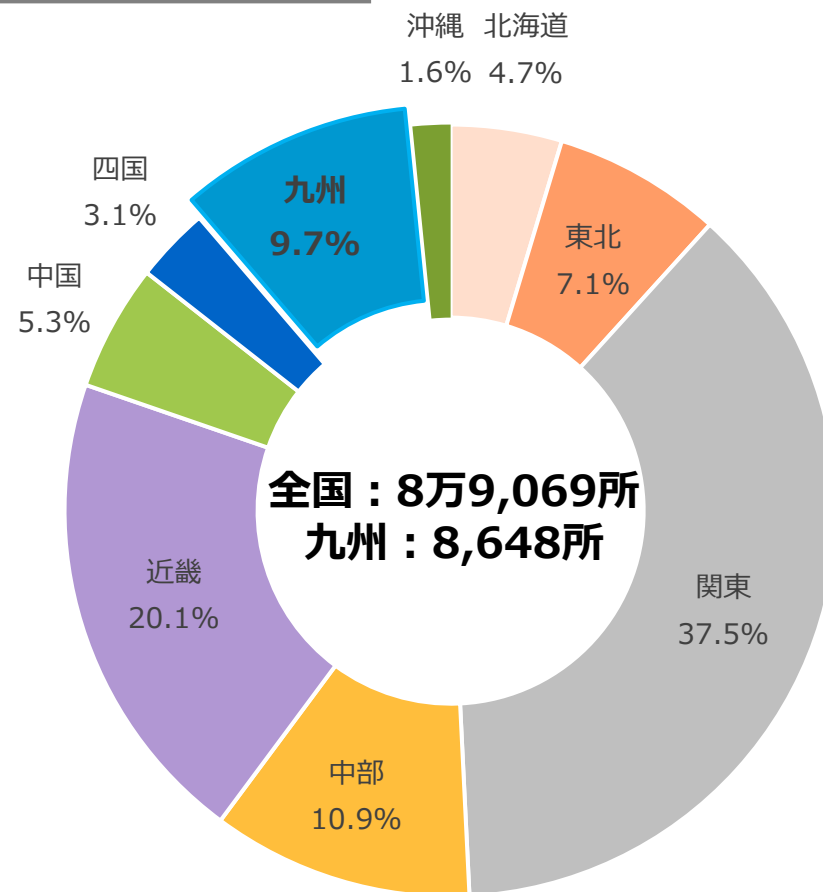
## 9. 開業・廃業 —事業所数—

2024年度に九州で開業した事業所数は9,353事業所で、全国の10.5%を占めた。また、廃業した事業所数は8,648事業所で、全国の9.7%を占めた。

図表9-1 ブロック別開業数



図表9-2 ブロック別廃業数



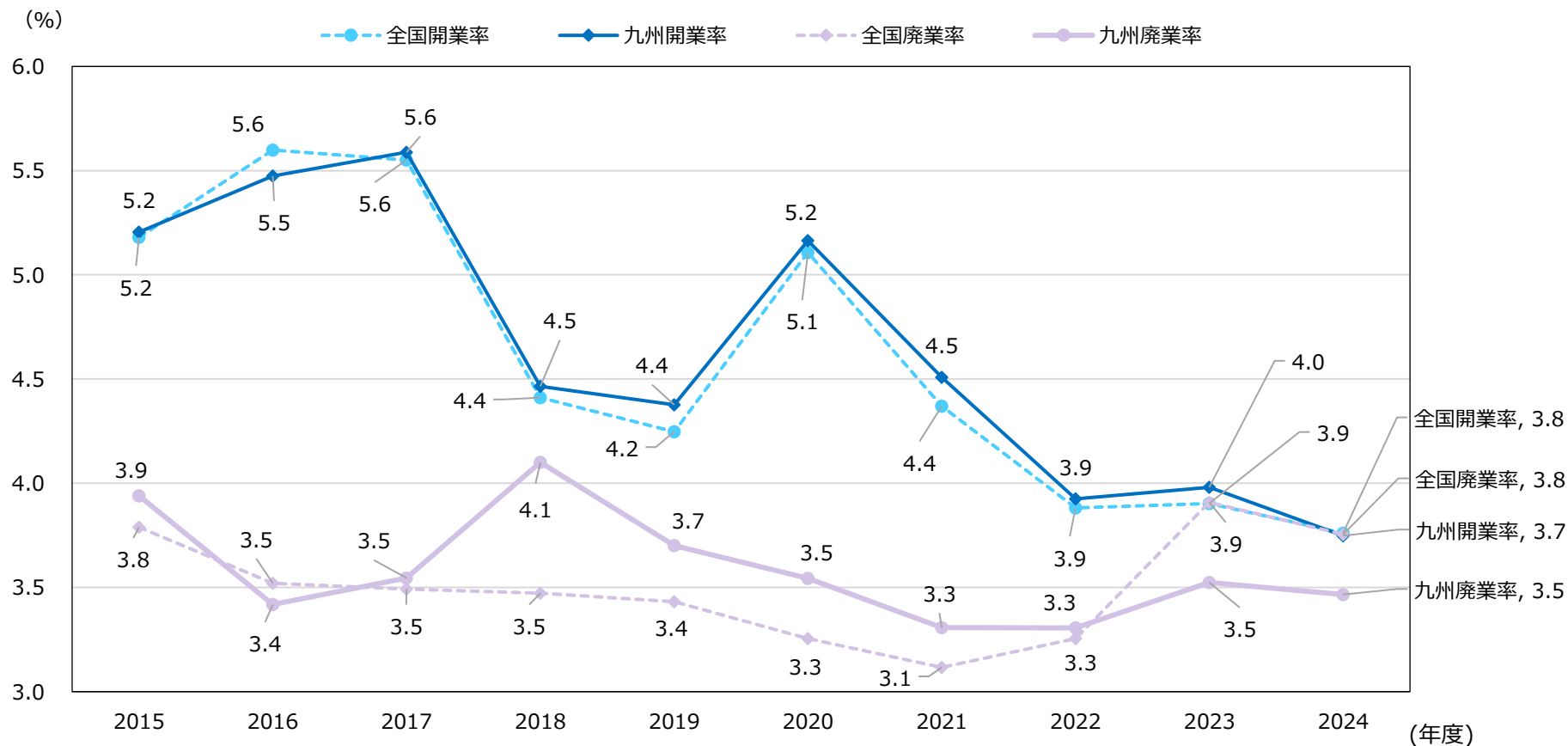
(出所) 厚生労働省「雇用保険事業年報」

(注) 上記グラフは、事業所における雇用関係が成立、消滅したことをもってそれぞれ開業、廃業とみなしている。

## 9. 開業・廃業 —開廃業率—

2024年度の九州の開業率は3.7%で2年ぶりに前年を下回った。また、廃業率は3.5%で横ばいとなった。九州の開業率・廃業率ともに全国を下回った。

図表9-3 九州の開業率・廃業率の推移



(出所) 厚生労働省「雇用保険事業年報」

(注) 開業率・廃業率は、以下の式により算出

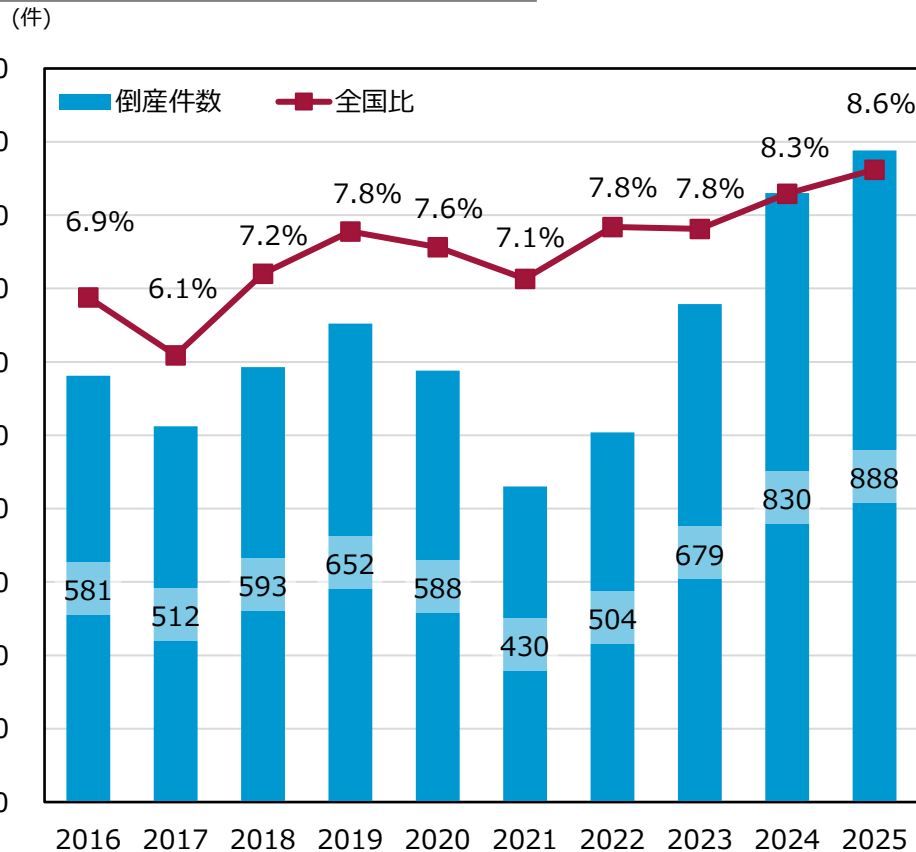
開業(廃業)率(%) = [当該年度]の保険関係新規成立(消滅)事業所数/[前年度末]の適用事業所数

# 10. 倒産 一件数の推移、産業別件数一

2025年の九州の倒産件数（負債額1,000万円以上）は、888件（前年比＋7.0%）と4年連続で増加した。

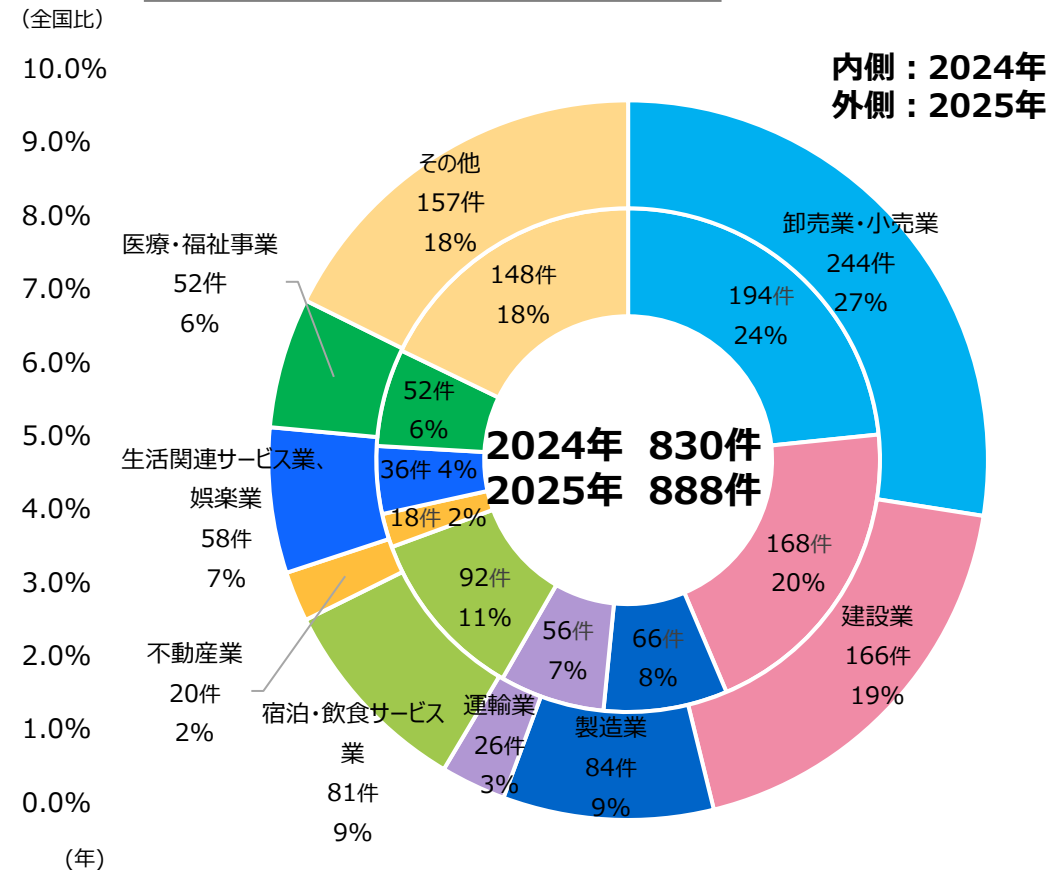
産業別件数の割合では、2024年と比較して「卸売業・小売業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「製造業」が高くなっている。

図表10-1 倒産件数と全国比の推移



(出所) (株)東京商工リサーチ

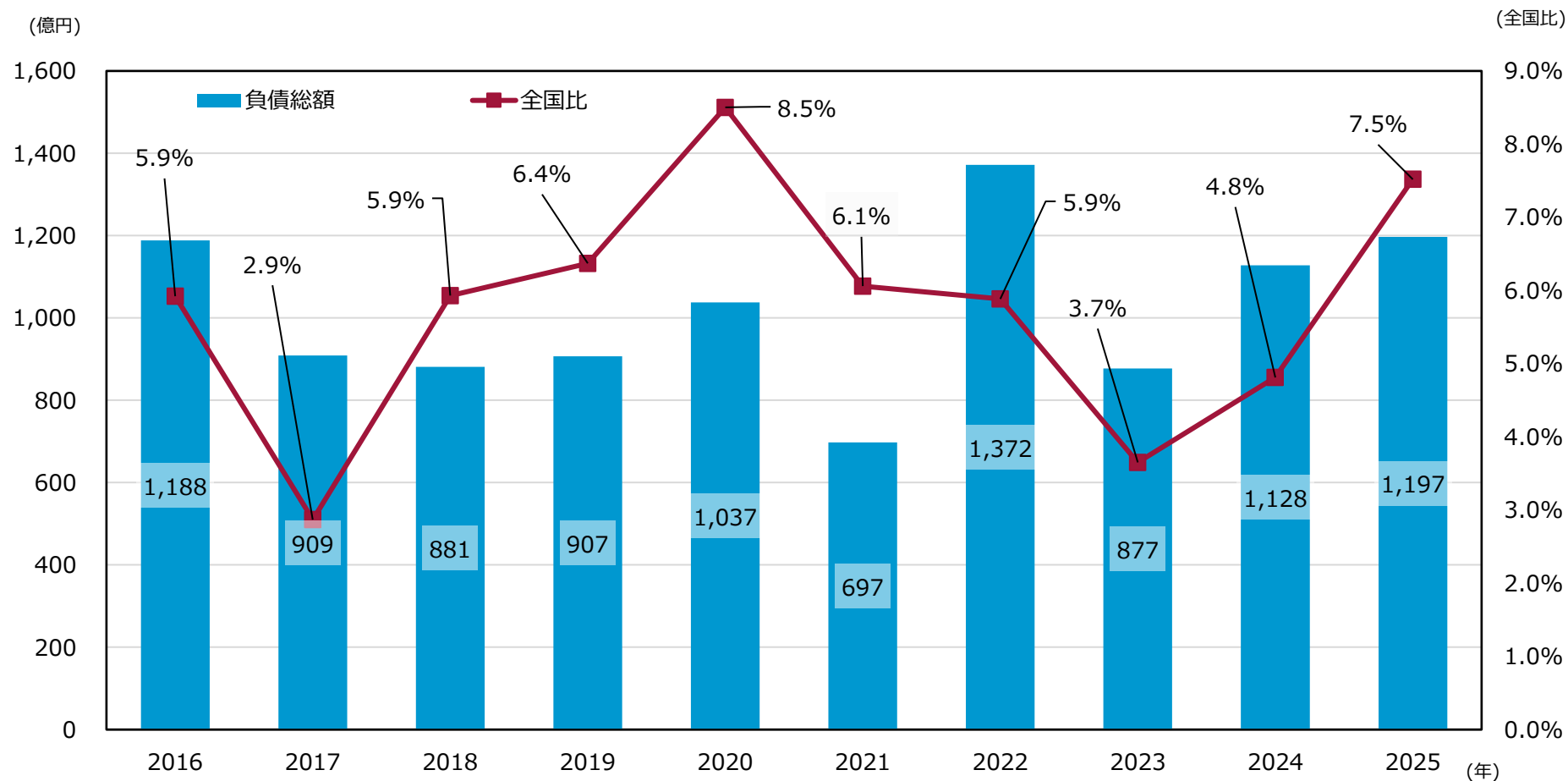
図表10-2 産業別件数、割合



# 10. 倒産 - 負債総額推移 -

2025年における九州の倒産企業の負債総額は、1,197億円（前年比+6.1%）となり、2年連続で増加した。

図表10-3 負債総額と全国比の推移



(出所) (株)東京商工リサーチ

## [参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
1	人口(千人) 2025年	5,087	794	1,274	1,716	1,102	1,048	1,559	12,581	124,331
	国内順位	8位	42位	30位	23位	33位	35位	24位	-	-
	構成比(全国=100)	4.1%	0.6%	1.0%	1.4%	0.9%	0.8%	1.3%	10.1%	100.0%
	生産年齢人口比	59.3%	55.7%	53.8%	55.1%	54.6%	53.9%	53.8%	56.4%	59.8%
	高齢化率(65歳~)	28.1%	31.6%	34.4%	32.3%	34.0%	33.6%	33.7%	31.2%	28.9%
2	面積(km <sup>2</sup> ) 2026年	4,987	2,441	4,131	7,409	6,341	7,734	9,186	42,229	377,980
	国内順位	29位	42位	37位	15位	22位	14位	10位	—	—
3	世帯数(千世帯) 2024年	2,571	349	635	817	551	534	813	6,270	61,288
	国内順位	9位	42位	28位	22位	32位	34位	23位	-	-
4	就業者数(千人) 2020年	2,253	400	618	819	520	499	738	5,848	57,643
	構成比(全国=100)	3.9%	0.7%	1.1%	1.4%	0.9%	0.9%	1.3%	10.1%	100.0%
	1次産業比率	2.4%	7.4%	6.6%	8.8%	6.1%	9.9%	8.3%	5.8%	3.4%
	2次産業比率	19.4%	23.5%	18.8%	20.7%	22.6%	20.4%	18.8%	20.1%	23.0%
	3次産業比率	74.9%	66.9%	72.2%	68.5%	69.3%	67.8%	71.1%	71.6%	70.6%
	分類不能	3.3%	2.2%	2.3%	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	2.5%	3.0%
5	事業所数(民営) 2021年	210,530	35,815	58,382	72,744	50,589	48,940	71,793	548,793	5,156,063
	構成比(全国=100)	4.1%	0.7%	1.1%	1.4%	1.0%	0.9%	1.4%	10.6%	100.0%

(出所) 1, 3 :総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(令和7年1月1日現在)、2 :国土交通省「令和8年全国都道府県市区町村別面積調」  
4 :総務省「令和2年国勢調査」、5 :総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

(注) 「事業所数」は、民営の事業所数。事業内容等不詳は除く。

## [参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
6	<b>県内総生産(兆円) 2022年度(名目)</b>	20.2	3.1	4.7	6.6	4.9	3.8	6.0	49.3	595.8
	国内順位	9位	44位	32位	24位	29位	39位	26位	—	—
	構成比(全国=100)	3.4%	0.5%	0.8%	1.1%	0.8%	0.6%	1.0%	8.3%	100.0%
	1次産業比率	0.6%	2.5%	2.6%	2.8%	1.7%	4.9%	4.8%	2.2%	0.9%
	2次産業比率	19.4%	29.9%	24.5%	29.3%	34.8%	24.7%	23.2%	24.3%	26.3%
	3次産業比率	79.0%	66.7%	72.5%	66.6%	61.9%	69.3%	70.8%	72.5%	72.0%
7	<b>県民所得(兆円) 2022年度</b>	14.4	2.3	3.3	4.9	3.2	2.6	4.3	34.9	430.8
	1人当り県民所得(千円)	2,813	2,892	2,570	2,857	2,871	2,453	2,722	2,763	3,448
	国内順位	35位	30位	43位	34位	32位	46位	39位	—	—
8	<b>純付加価値額(億円) 2021年</b>	87,345	10,849	14,886	21,759	14,661	13,149	20,521	183,170	3,362,595
9	<b>製造品出荷額等(億円) 2023年</b>	116,167	23,192	18,517	34,863	56,838	18,365	24,150	292,093	3,732,388
	国内順位	10位	38位	40位	28位	22位	41位	36位	—	—
	構成比(全国=100)	3.1%	0.6%	0.5%	0.9%	1.5%	0.5%	0.6%	7.8%	100.0%
10	<b>卸売販売額(億円) 2021年</b>	164,203	9,796	15,504	24,059	12,457	16,374	23,744	266,138	4,016,335
	構成比(全国=100)	4.1%	0.2%	0.4%	0.6%	0.3%	0.4%	0.6%	6.6%	100.0%
11	<b>小売販売額(億円) 2021年</b>	56,780	8,290	12,493	18,859	11,867	10,764	15,292	134,345	1,381,804
	構成比(全国=100)	4.1%	0.6%	0.9%	1.4%	0.9%	0.8%	1.1%	9.7%	100.0%

(出所) 6, 7:「令和4年度県民経済計算」、8, 10, 11:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」、9, 総務省・経済産業省「令和6年経済構造実態調査」

(注) 「県内総生産」の産業比率は、分母を県内総生産として算出

## [参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
12	<b>農業産出額(億円) 2024年</b>	2,301	1,372	1,745	4,116	1,498	3,725	5,689	20,446	108,200
	国内順位	19位	27位	23位	6位	25位	7位	2位	—	—
	構成比(全国=100)	2.1%	1.3%	1.6%	3.8%	1.4%	3.4%	5.3%	18.9%	100.0%
13	<b>海面漁業漁獲量(t) 2024年</b>	16,008	4,321	297,100	11,278	17,931	82,299	44,069	473,006	2,786,195
	国内順位	28位	36位	2位	31位	25位	8位	16位	—	—
	構成比(全国=100)	0.6%	0.2%	10.7%	0.4%	0.6%	3.0%	1.6%	17.0%	100.0%
14	<b>海面養殖業漁獲量(t) 2024年</b>	28,997	44,315	22,607	43,240	20,109	13,700	47,725	220,693	802,927
	国内順位	10位	7位	12位	8位	14位	19位	6位	—	—
	構成比(全国=100)	3.6%	5.5%	2.8%	5.4%	2.5%	1.7%	5.9%	27.5%	100.0%
15	<b>林業産出額(億円) 2024年</b>	161	18	60	163	181	288	94	964	4,770
	国内順位	8位	40位	26位	7位	6位	4位	17位	—	—
	構成比(全国=100)	3.4%	0.4%	1.3%	3.4%	3.8%	6.0%	2.0%	20.2%	100.0%

(出所) 12:農林水産省「令和6年生産農業所得統計」、13,14:農林水産省「令和6年漁業・養殖業生産統計」、15:農林水産省「令和6年林業産出額」